

# 2020/1Q決算を踏まえた 2020年度見通しと課題

2020年8月6日  
日鉄物産株式会社  
代表取締役 社長 佐伯 康光



**日鉄物産**  
NIPPON STEEL TRADING

# 2020/1Q決算のハイライト

## 当社を取り巻く経営環境

### 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大局面

- 国内は緊急事態宣言発令に伴う外出自粛等に伴い鋼材需要、衣料品販売、外食需要共に過去最大級の落ち込み
- 海外は、(中国を除き)各国とも厳しいロックダウン体制の中、経済活動は停滞、輸出・現地販売共に大きく減少

### 鋼材需要(国内+輸出) (METI)

2019/1Q 2020/1Q  
23 百万トﾝ → 17 百万トﾝ ▲23%

### 全国百貨店衣類売上高 (日本百貨店協会)

2019/1Q 2020/1Q  
4,145 億円 → 1,689 億円 ▲59%

## 当社1Q業績の概要

### 売上高減少を主因に減収減益

- 全社(内外子会社も含め)で原則在宅勤務体制に移行、感染拡大防止対策を徹底
- 一般管理費等の緊急コスト削減に努めたが、売上利益減少影響が大きく、経常利益は×35億円の減益となる46億円、当期純利益は、×25億円の減益となる27億円

億円	2019/1Q	2020/1Q	増減	
売上高	6,287	4,793	-24%	▲1,494
経常利益	81	46	-43%	×35
当期純利益	52	27	-48%	×25

## 2020年度見通しと当社の対応

### 厳しい環境は継続、大きく減収減益の見通し

↓  
経営環境変化に対応した事業基盤強化策と成長軌道への復帰に向けた施策を実行

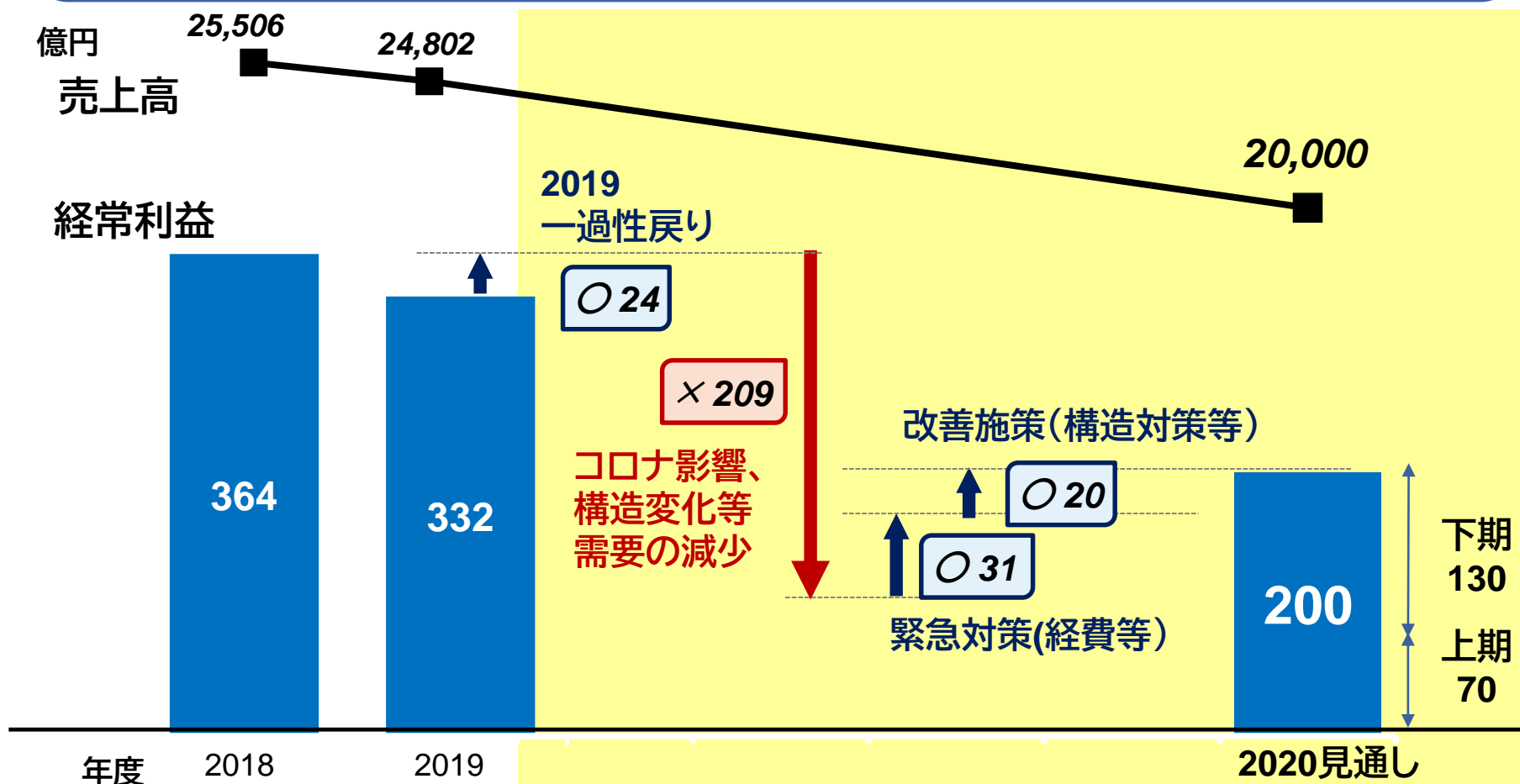
億円	2019年度	2020年度見通し	増減	
売上高	24,802	20,000	-19%	▲4,802
経常利益	332	200	-40%	×132
当期純利益	207	100	-52%	×107
配当(円)	200	100		▲100

# 1. 2020年度業績見通し

---

# 2020年度経常利益見通し

- 新型コロナウイルス感染症影響は、経済活動再開後の一進一退はあるものの、緩やかに改善していくものと想定
- 一方で鉄鋼・繊維等の構造変化影響は継続
- 緊急対策も含め収益改善に努めるも、需要減少に伴う売上高減を主因に経常利益は200億円の見通し



# 2020年度半期別業績見通し

億円	2019年度		2020年度 (比率は前年同期対比,一過性を除く)				
	実績	一過性除き	1Q実績	上期見通し	下期見通し	通期見通し	
鉄鋼	21,186		4,068	8,000	8,800	-21%	16,800
産機	877		186	370	430	-9%	800
繊維	1,300		202	450	550	-23%	1,000
食糧	1,428		335	680	720	-2%	1,400
合計	24,802		4,793	9,500	10,500	-19%	20,000
鉄鋼	222	<-32> 254	45	60	92	-40%	152
産機	37	<8> 29	<-5> 4	5	8	-55%	13
繊維	46	46	-2	-5	17	-74%	12
食糧	24	24	4	10	13	-4%	23
合計	332	<-24> 356	<-5> 52	70	130	-44%	200

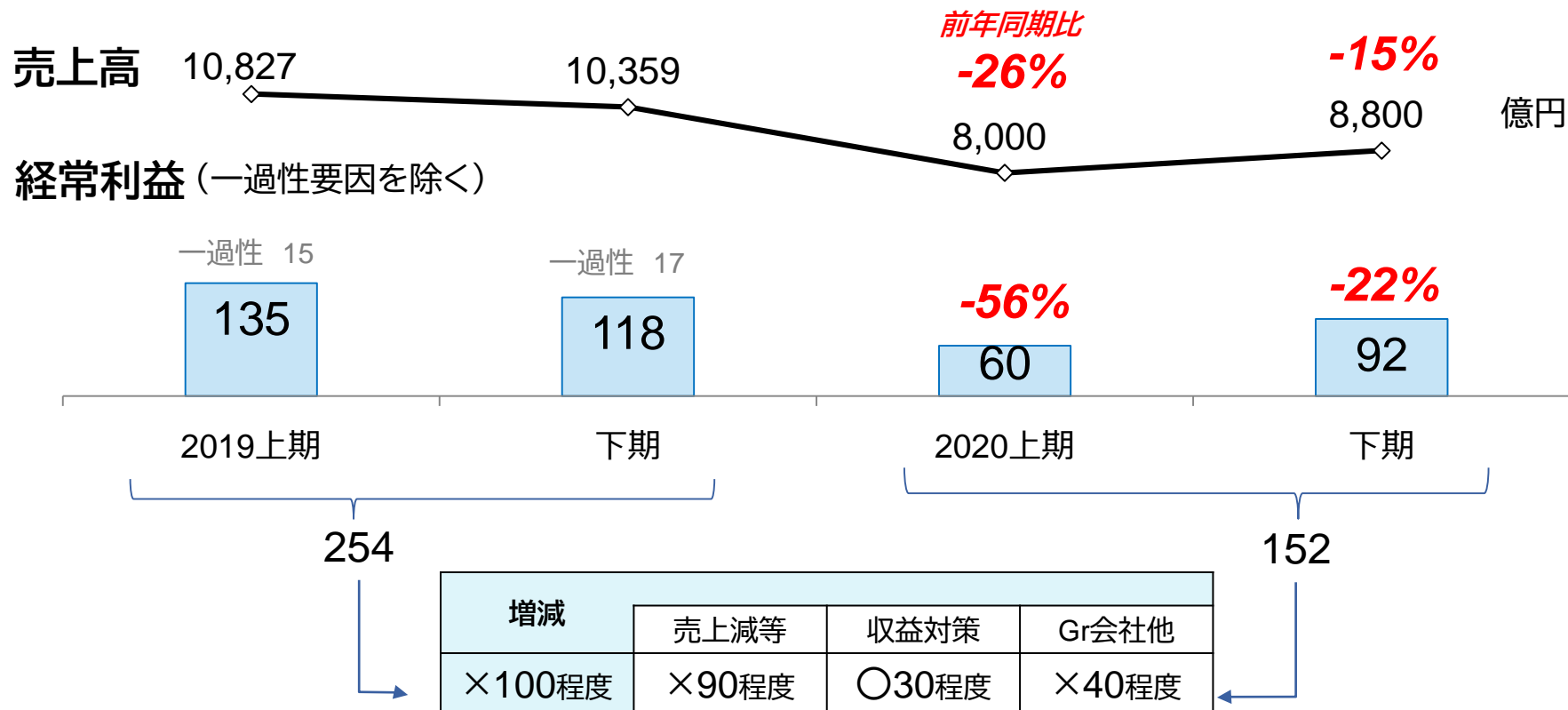
<一過性損益で外数>

# 2020年度の事業環境と業績見通しの前提

前期比売上高 ▲21%  
 // 経常利益 ▲40%  
 (一過性要因を除く)

万ト	2019	2020見通し	増減
国内	1,167	950 程度	▲220 程度
海外	825	650 程度	▲180 程度
連結取扱量	1,992	1,600 程度	▲400 程度

## 鉄鋼事業半期別売上高・経常利益見通し

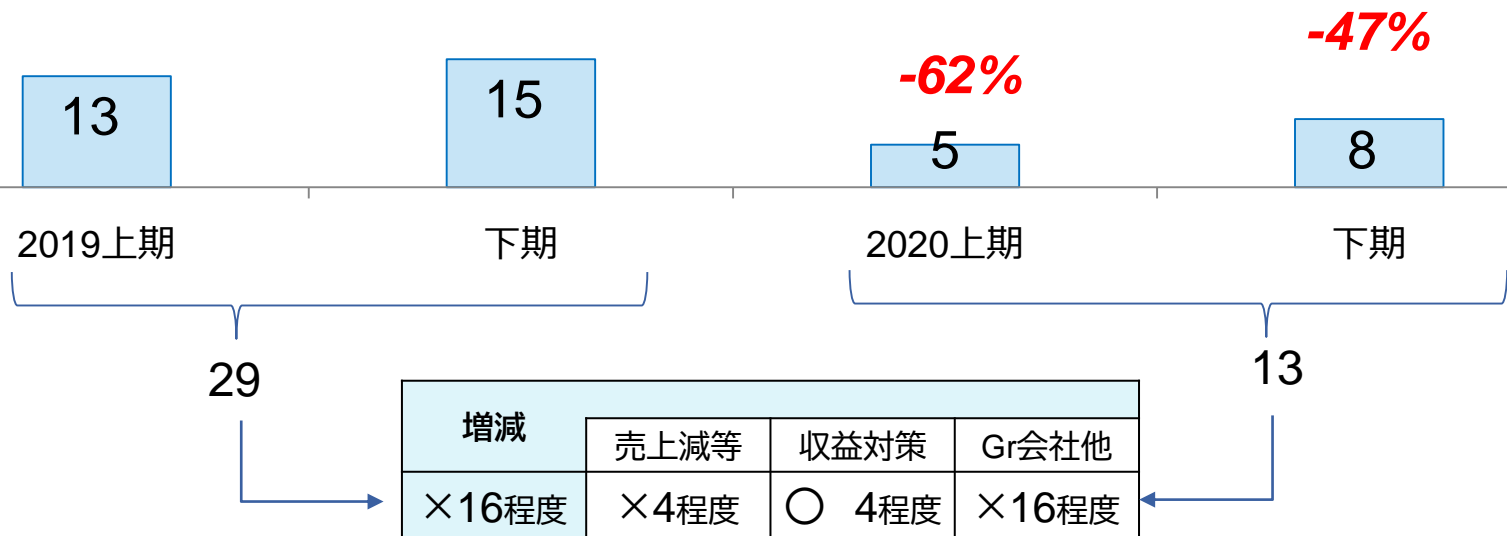
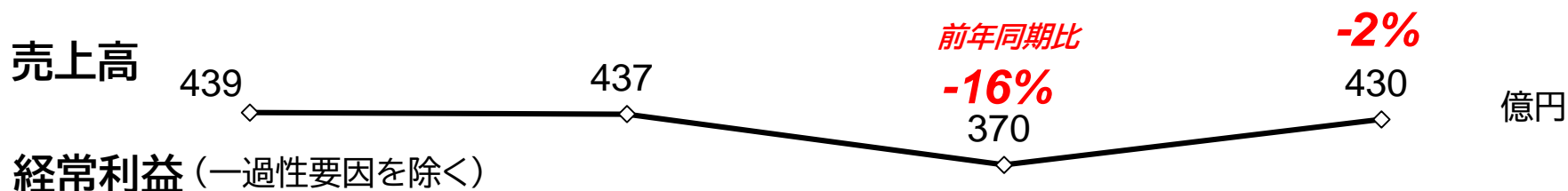


# 2020年度の事業環境と業績見通しの前提

前期比売上高 ▲ 9%  
 // 経常利益 ▲ 55%  
 (一過性要因を除く)

- Gr会社の自動車部品事業の減益が大きく影響

## 産機・インフラ事業半期別 売上高・経常利益見通し



増減	売上減等	収益対策	Gr会社他
	×16程度	×4程度	○ 4程度

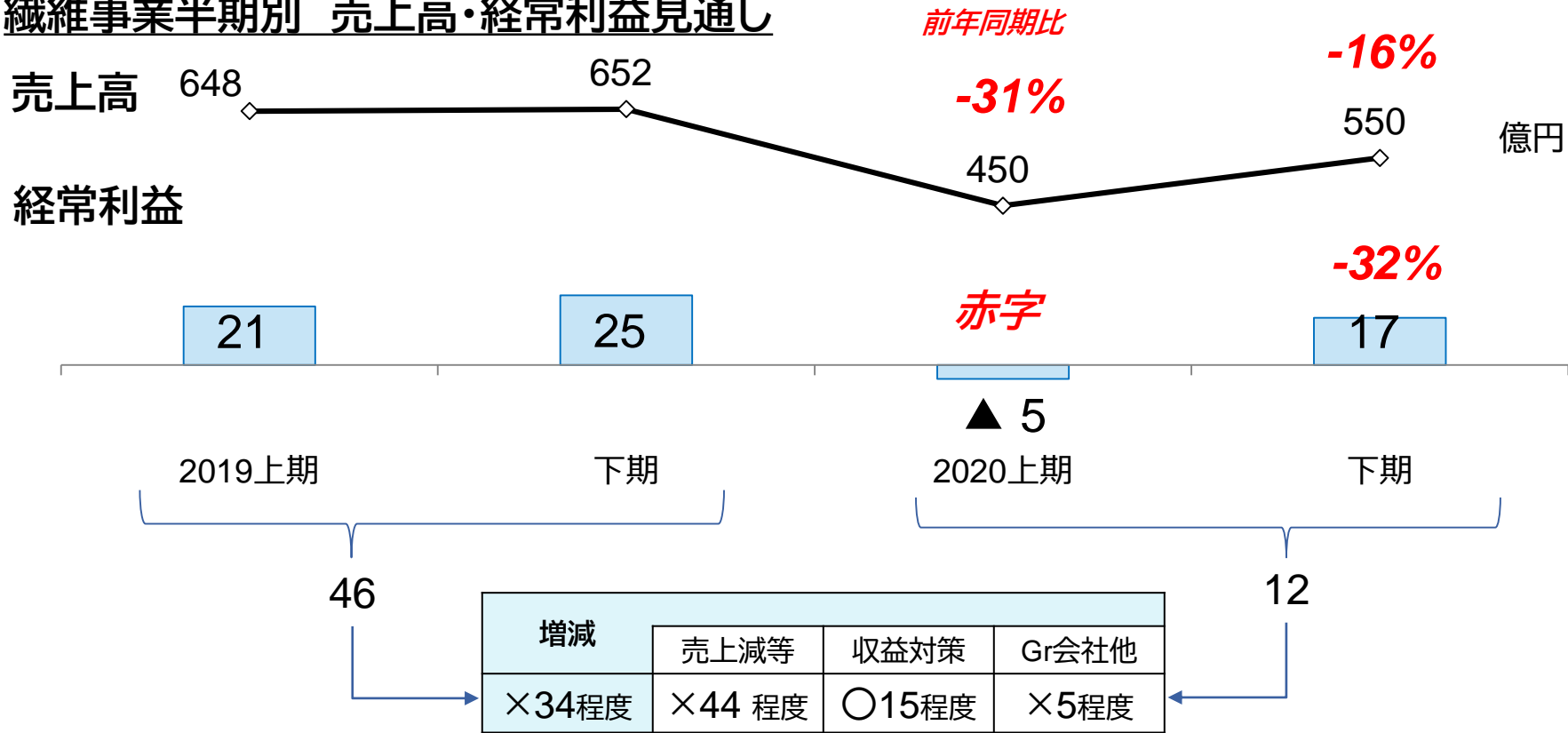
29 (2019上期)      13 (2020下期)

# 2020年度の事業環境と業績見通しの前提

前期比売上高 ▲23%  
 // 経常利益 ▲74%

- 上期は顧客店舗休業、仕入れ抑制影響等により赤字の見通し。収益対策を積み上げ下期での挽回を期す。

## 織維事業半期別 売上高・経常利益見通し





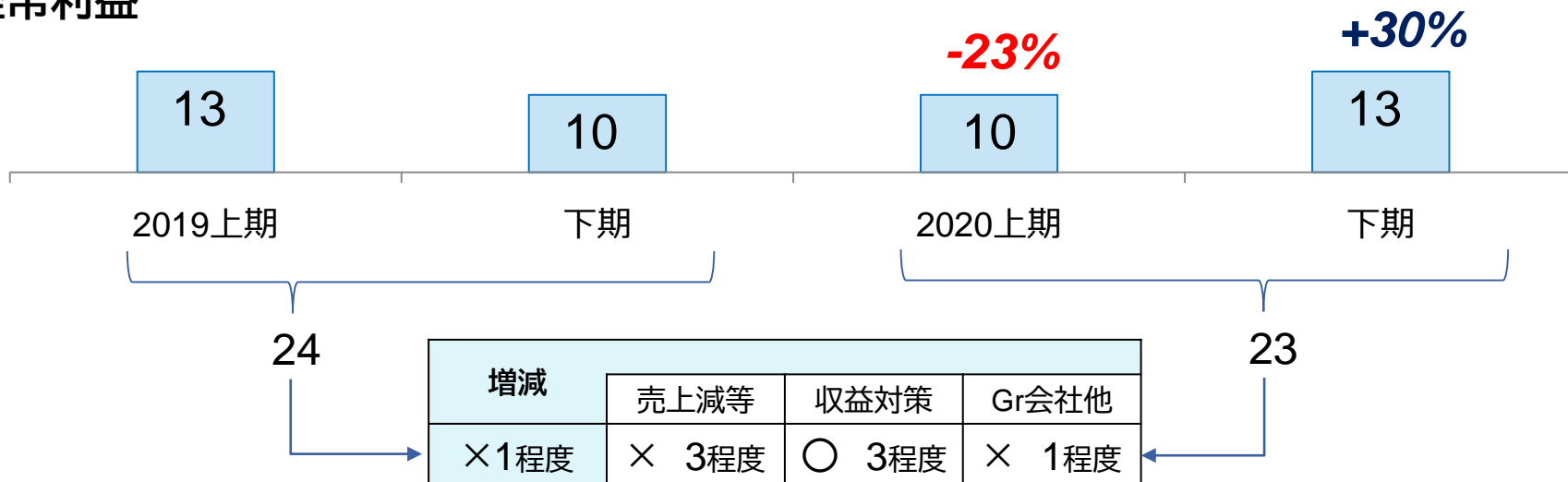
前期比売上高 ▲ 2%  
 // 経常利益 ▲ 4%

- 外食向け需要の減少を量販店向け拡販等の収益対策でカバーし、通期では前年度並みの収益水準を目指す。

## 食糧事業半期別 売上高・経常利益見通し



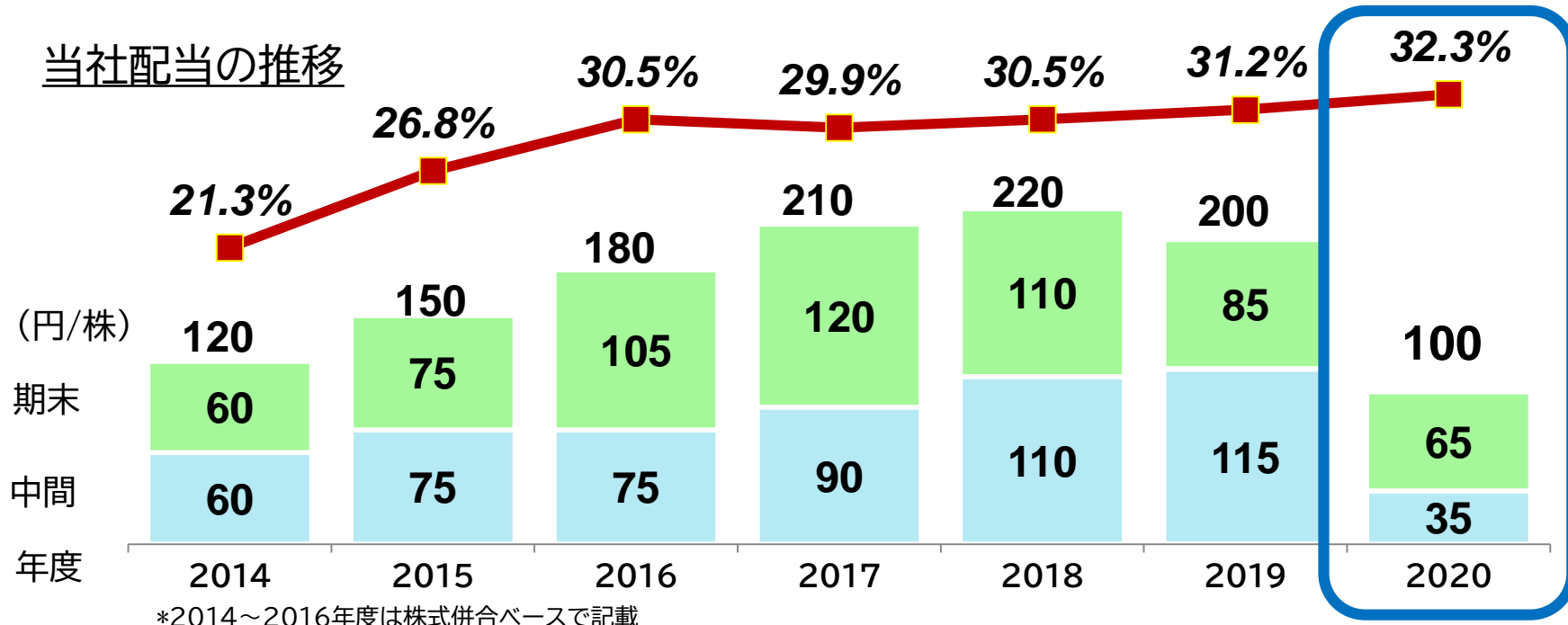
## 経常利益



# 配当見通し

	2019年度	2020年度見通し		増減
		上期	下期	
経常利益	332 億円	70 億円	130 億円	200 億円 ▲40%
当期純利益	207 億円	35 億円	65 億円	100 億円 ▲52%
<b>配当</b>	<b>200 円</b>	<b>35 円</b>	<b>65 円</b>	<b>▲ 100円</b>
配当性向	31.2%	32.3%	32.3%	+1.1%

## 当社配当の推移



## 2.当社の対応

---

# 重点取組み課題

	2019年度	2020年度		2021年度		2022年度
	4Q	上期	下期	上期	下期	
経済情勢		緊急事態宣言	経済活動の回復（段階的・非直線的 → 不透明）			
当社 売上水準	前年同期比	-25%程度	-10~-15%程度	構造変化影響の継続 →		

## A. 感染拡大防止と事業活動継続の両立

緊急コスト削減とリスクマネジメント強化

## B. 事業基盤強化策の実行

① 事業構造対策を強力に推進

② 生産性の抜本的改善策の実行

## C. 成長に向けた事業戦略実行

① 販売数量・売上高拡大

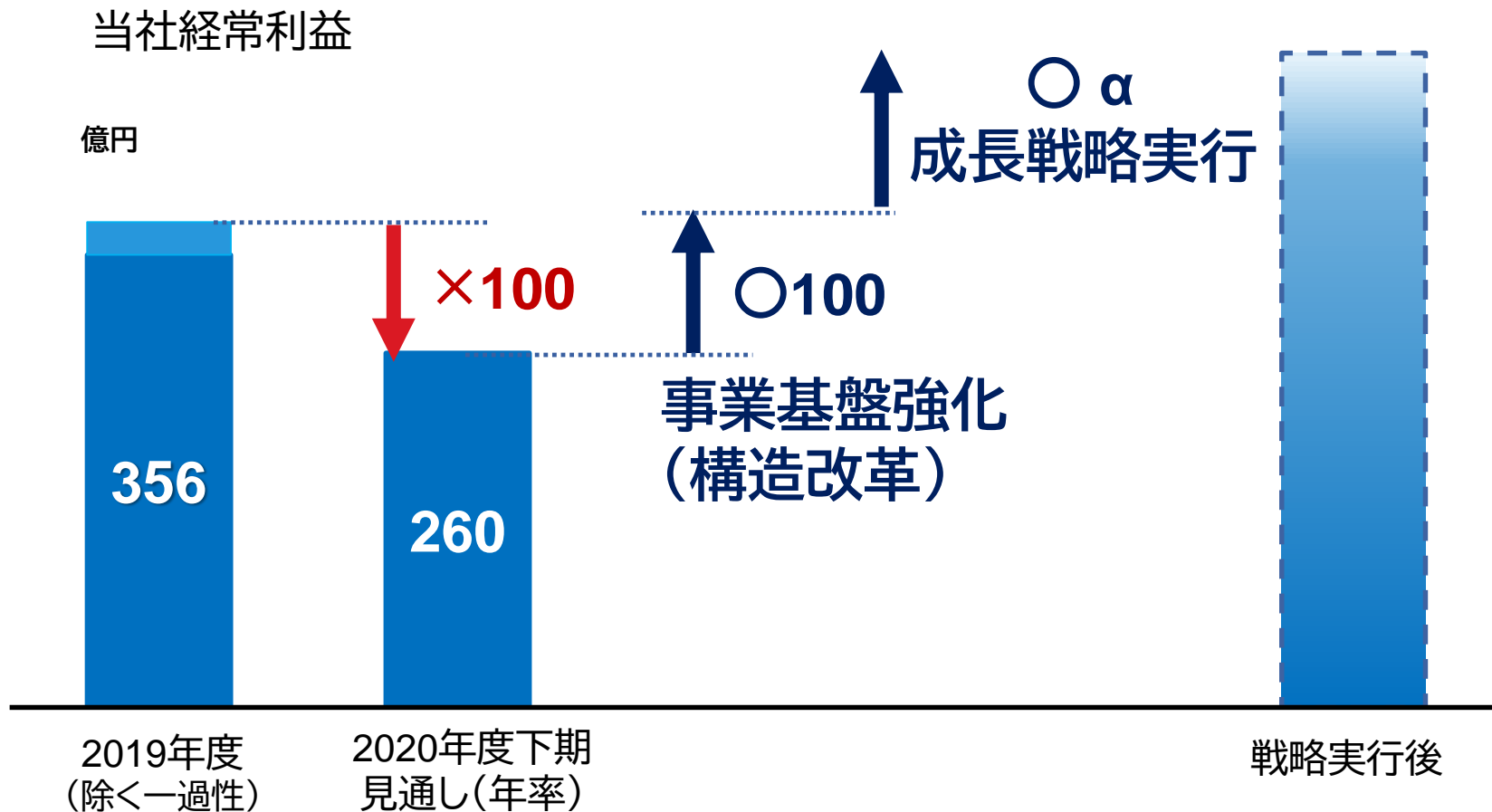
② 新規事業・新需要分野開拓

M&A / アライアンス

当社の対応

# 更なる成長の実現に向けて

- 今後のコロナ影響も不透明な中、事業構造変化の影響は継続
- 当社は、事業基盤強化(構造改革)と成長戦略の実行やM&A等の施策により収益の早期回復と更なる成長を目指す。



# A. 感染拡大防止と事業活動継続の両立

## 在宅勤務体制継続

緊急事態宣言解除後も、営業含め在宅勤務率50%目指す

データベースクラウド化、業務基幹システムの社外アクセス、TEAMS等コミュニケーションツール導入、自宅WIFI環境構築補助、派遣社員含めたIphone貸与

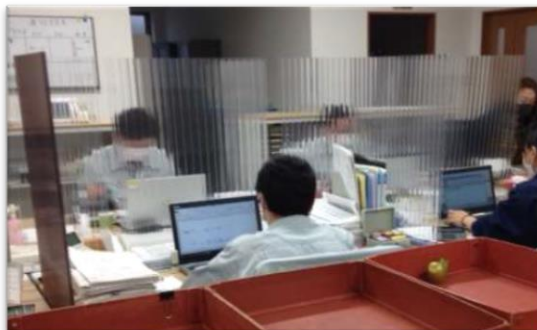
## 出社時の感染防止

業務上出社が必要な場合の感染防止策

Flex-Timeの積極活用、ご来客検温、全デスクパーテーション設置、会議室定員の半減、会議の削減、国内出張・会食の制限、海外出張の原則禁止

## グループ会社の対応

事務所→当社に準じた対策、現場→三密回避対策



✓ 本社移転(2021年度予定)後のオフィスレイアウト等を在宅勤務定着を前提に再検討



# A. 感染拡大防止と事業活動継続の両立

## ● コスト圧縮をはじめとする収益対策や各種リスクマネジメントを徹底

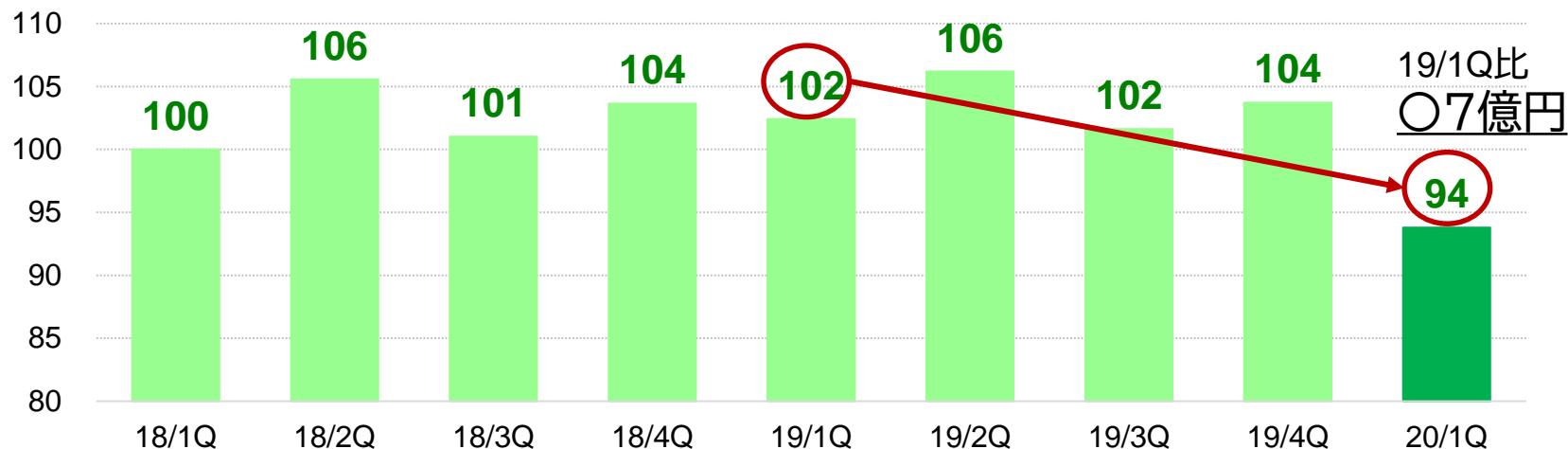
- ✓ 急激な経済活動縮小に対応した緊急経費削減
- ✓ 操業度が大幅に低下した子会社における臨時休業実施等



2020年度緊急コスト圧縮 **○30** 億円程度

- ✓ 与信管理体制の一層の強化

当社(単体)一般管理費の推移(2018/1Q=100)



## B. 経営環境変化に対応した事業基盤強化策の実行

### ① 再編・統合・撤退を含めた事業構造対策を強力に推進

- ✓ 国内外コイルセンター・加工会社・縫製拠点・販社の統廃合
- ✓ 国内外販売拠点の統廃合を含めた効率化

### ② 生産性の抜本的向上施策実行

- ✓ 業務プロセスの見直し、デジタルツールの全面活用により  
20~30% 程度の生産性改善を目指す
- ✓ 捻出した人材は既存ビジネスから成長・新規分野へ再配置

労務費・設備費等の固定費他コスト改善により



**○100** 億円程度の収益改善



## C. 成長に向けた事業戦略実行

### ① 販売数量・売上高拡大に向けた戦略推進

2020/7月 社長直轄組織「DX推進部」新設

デジタルツールをフルに活用した  
**トレーディング業務の刷新**

お客様のニーズ・ご信頼に、よりお応えする  
トレーディングへ

お客様の業務効率化、オーダー進捗状況の可視化、  
受注～納品 全体プロセスの品質・信頼性向上

**SDGs対応案・商品を  
積極的にお客様にご提案**

お客様のSDGs 対応のパートナーへ

例)鉄鋼・産機:エコマテリアル、軽量化・電動化対応  
繊維:リサイクル商材、エコフレンドリー素材活用  
食糧:抗生物質フリー輸入肉

バリューチェーンの  
**グローバル化・  
インサイダー化**

お客様の成長中心地域における  
現地調達・現地加工・現地販売の推進

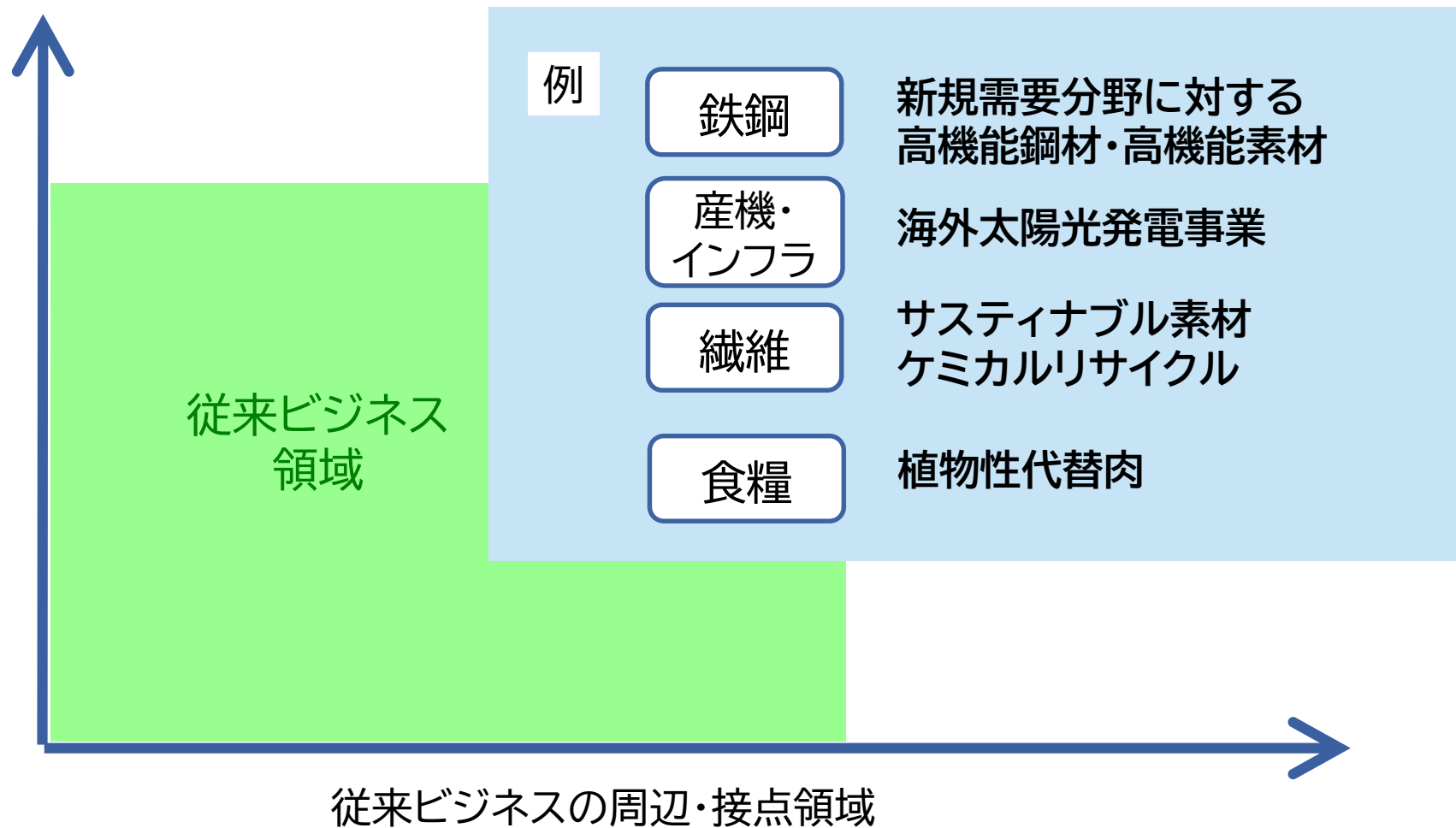
例)鉄鋼:アジア地区建材加工強化、  
北米加工拠点拡大  
産機:自動車部品・GHS事業強化  
繊維:アジア地区現地生産・販売  
食糧:三国間取引の拡大

< 戦略の早期実現に向けた **M&A / アライアンス** >

# C. 成長に向けた事業戦略実行

## ② 新規事業・新需要分野開拓

DX化視点・SDGs視点・グローバル化視点



# 3.2020年度1Q決算実績および 上期見通し

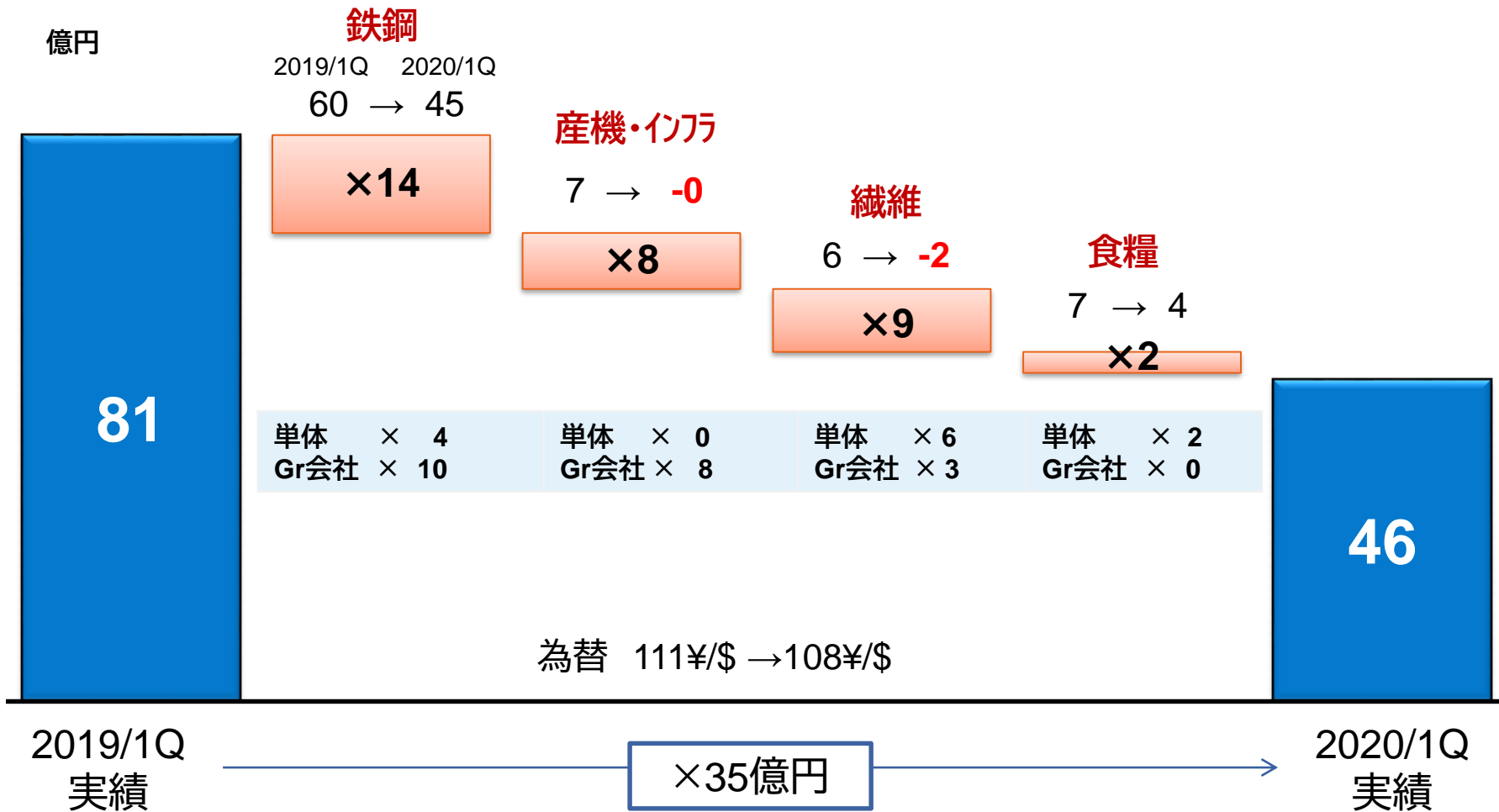
---

# 2020年度1Q決算概況

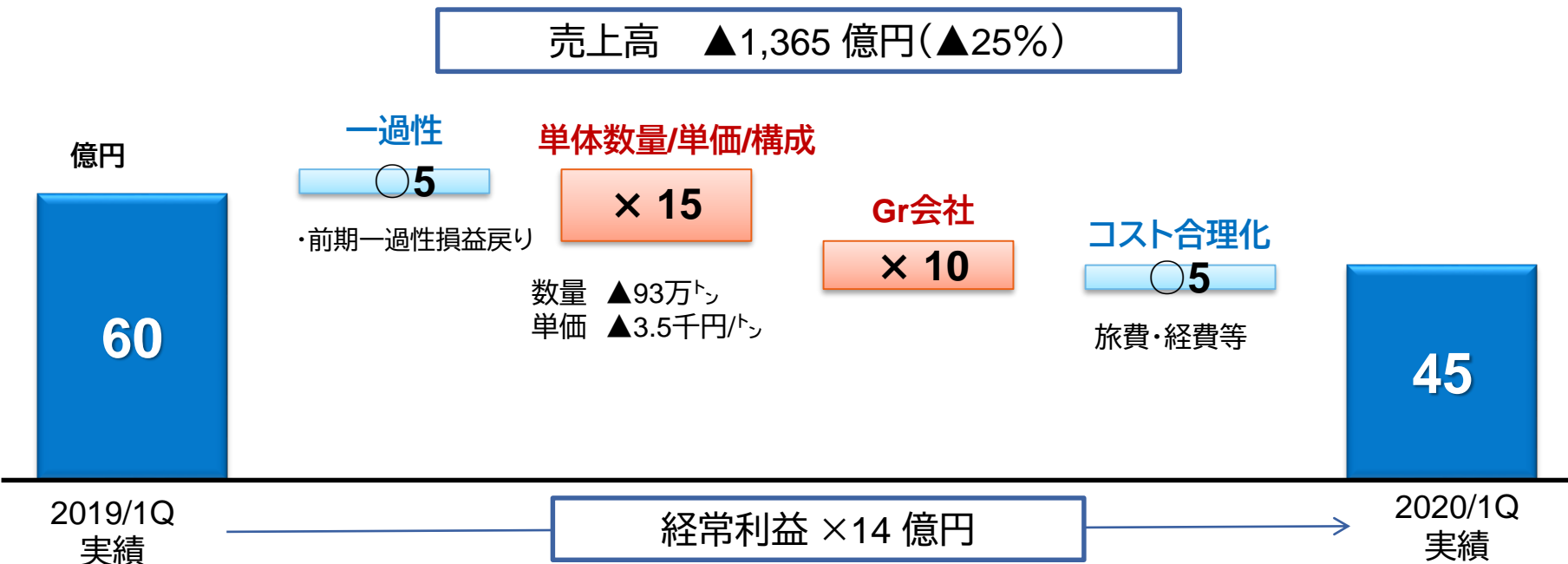
億円					FY2019	FY2020 1Q	増減	
	1Q	2Q	3Q	4Q			19/1Q比	19/4Q比
売上高	6,287	6,356	6,173	5,985	24,802	<b>4,793</b>	-1,494	-1,191
(比率) 海外売上高	(28.1%) 1,767	(28.2%) 1,791	(27.5%) 1,695	(28.4%) 1,700	(28.0%) 6,955	(29.8%) <b>1,426</b>	- 341	- 274
(利益率) 売上総利益	(5.6%) 349	(5.8%) 369	(5.8%) 357	(5.7%) 338	(5.7%) 1,415	(6.0%) <b>285</b>	× 64	× 52
営業利益	80	93	85	61	320	<b>42</b>	× 38	× 19
持分法損益	4	6	9	7	27	<b>-0</b>	× 5	× 8
経常利益	81	92	94	63	332	<b>46</b>	× 35	× 16
特別損益	-1	0	1	-15	-15	<b>-4</b>	× 3	○ 10
法人税等	24	28	27	15	95	<b>11</b>	○ 13	○ 4
非支配株主利益	3	3	3	3	14	<b>3</b>	○ 0	○ 0
当期純利益	52	60	65	28	207	<b>27</b>	× 25	× 0
EPS (円)	162.98	188.47	203.54	86.98	641.97	<b>84.68</b>	-78.30	-2.30
配当(円/株)		115		85	200			

# 経常利益増減要因(2019/1Q実績→2020/1Q実績)

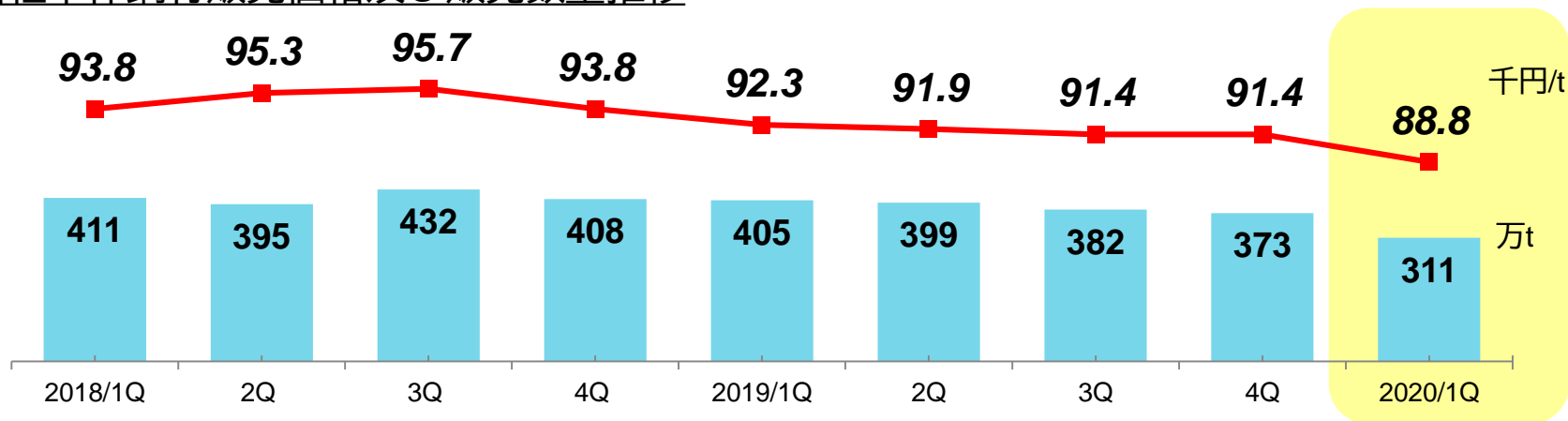
- 経済活動の停滞による売上高の減少影響を主体に全事業本部が減収減益



# 鉄鋼事業 経常利益増減要因

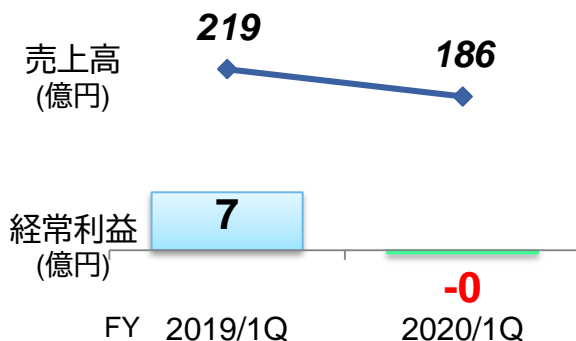


## 当社単体鋼材販売価格及び販売数量推移



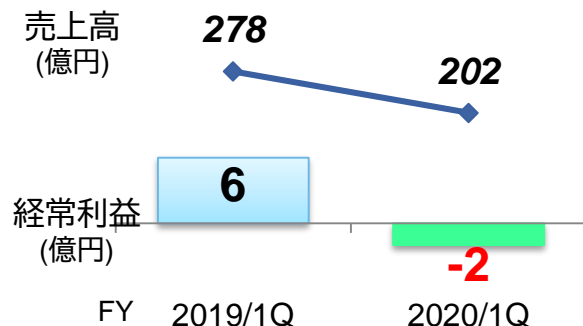
# セグメント別売上高・経常利益増減

## 産機・ インフラ



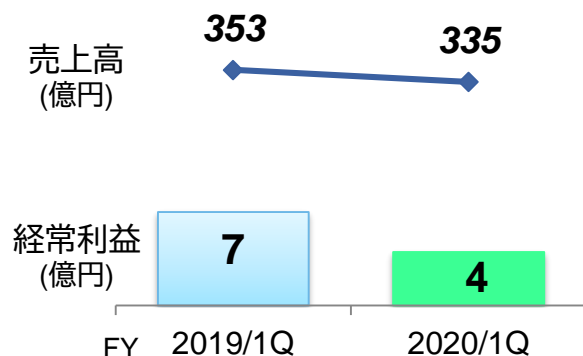
- 自動車生産の停滞や設備投資の減少影響等より売上高は前年同期比▲32億円の186億円
- 売上高の減少影響や一過性損失の発生影響を主体に経常利益は-1億円弱の赤字(前年同期比×8億円)

## 繊維



- アパレル店舗の休業の影響等より売上高は前年同期比▲76億円の202億円
- 売上減の影響に加え、貸倒引当金の計上等もあり、経常利益は前年同期比×9億円の-2億円

## 食糧



- 加工食品子会社増加影響はあったものの、外食の休業影響が大きく、売上高は前年同期比▲18億円の335億円
- 売上高減少影響を主体に経常利益は前年同期比×2億円の4億円

# 特別損益の内訳

億円	FY2019/1Q	FY2020/1Q	増減	備考
固定資産売却益	-	3	3	
投資有価証券売却益	0	0	0	
特別利益計	0	3	3	
投資有価証券売却損	1	-	1	
投資有価証券評価損	0	2	-2	
保証損失引当金繰入	-	5	-5	
特別損失計	1	8	-6	
特別損益計	-1	-4	-3	

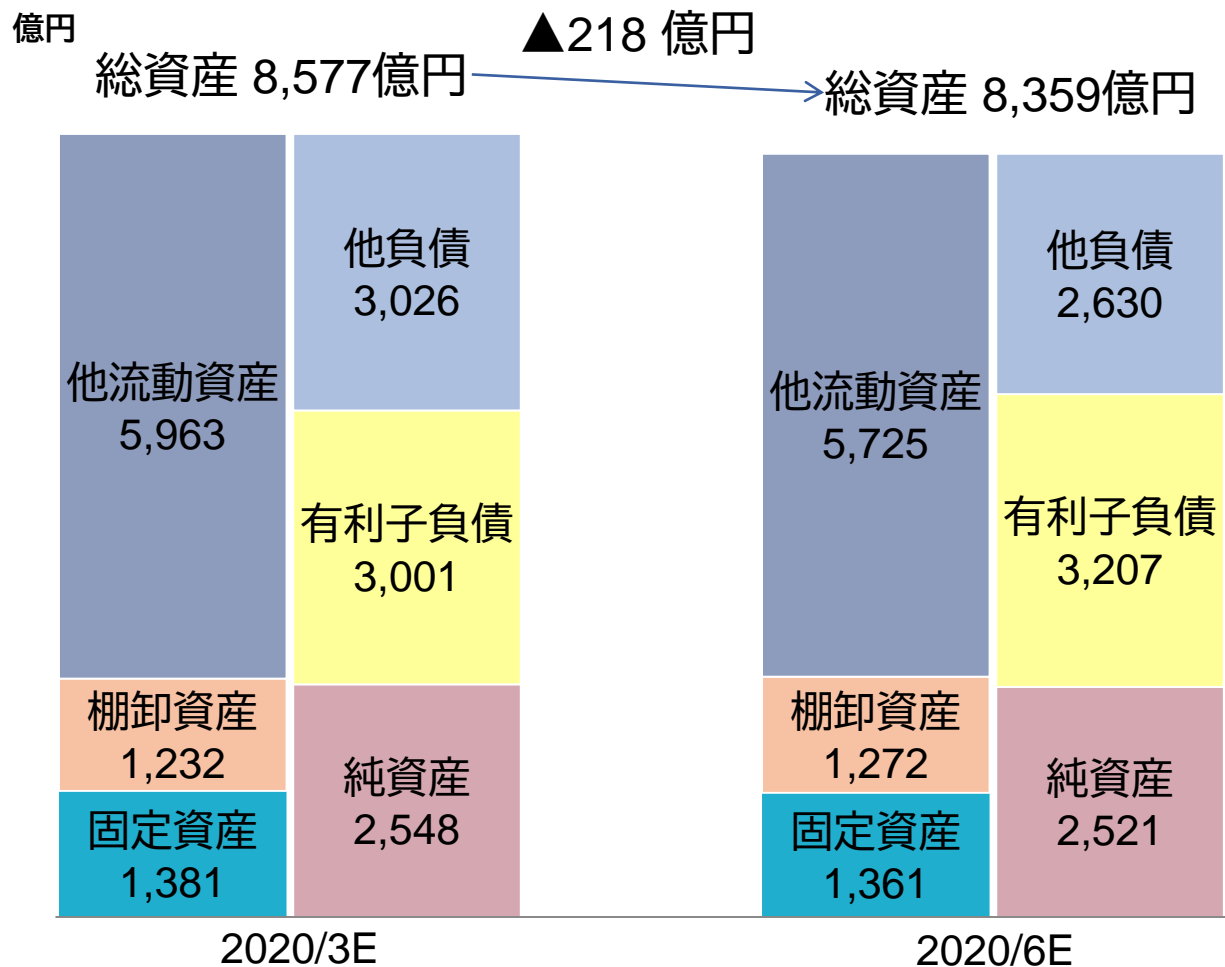


# 2020年度上期および通期業績見通し

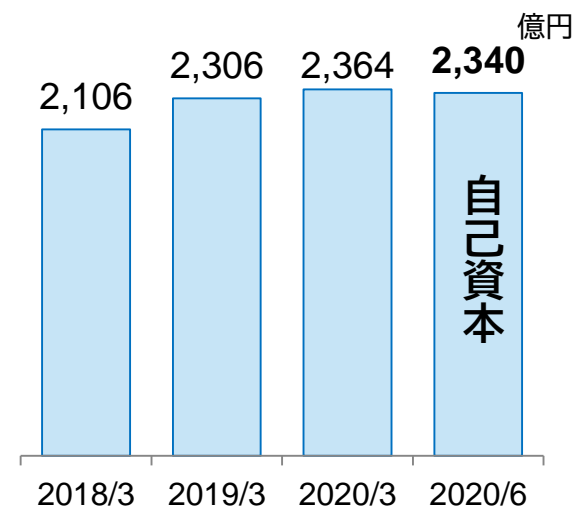
億円	2019年度		2020年度見通し				増減	
	上期		1Q	2Q見通し	上期見通し		上期	通期
鉄鋼	10,827	21,186	4,068	3,932	<b>8,000</b>	<b>16,800</b>	-2,827	-4,386
産機・インフラ	439	877	186	184	<b>370</b>	<b>800</b>	-69	-77
繊維	648	1,300	202	248	<b>450</b>	<b>1,000</b>	-198	-300
食糧	723	1,428	335	344	<b>680</b>	<b>1,400</b>	-43	-28
売上高	12,644	24,802	4,793	4,707	<b>9,500</b>	<b>20,000</b>	-3,144	-4,802
鉄鋼	120	222	45	14	<b>60</b>	<b>152</b>	× 60	× 70
産機・インフラ	17	37	-0	5	<b>5</b>	<b>13</b>	× 12	× 24
繊維	21	46	-2	-2	<b>-5</b>	<b>12</b>	× 26	× 34
食糧	13	24	4	5	<b>10</b>	<b>23</b>	× 3	× 1
経常利益	174	332	46	23	<b>70</b>	<b>200</b>	× 104	× 132
当期純利益	113	207	27	8	<b>35</b>	<b>100</b>	× 78	× 107
EPS (円)	351.5	641.97	84.68	23.82	<b>108.5</b>	<b>310.0</b>	- 243.0	- 331.97
配当(円/株)	115	200			<b>35</b>	<b>100</b>	- 80	- 100
配当性向		31.2%				<b>32.3%</b>		1.1%

# バランスシートの状況

- 総資産は売掛金の減を主体に減、財務体質は改善傾向



	2020/3E	2020/6E
自己資本比率	27.6%	28.0%
Net - D/Eレシオ	1.16倍	1.12倍



# 4. 参考資料

---

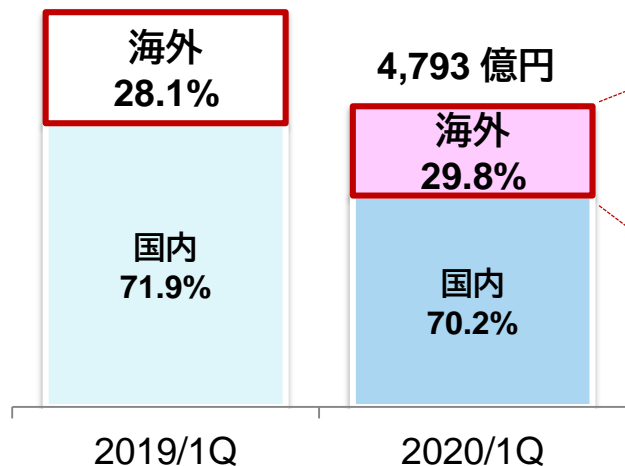
# 四半期別売上高・経常利益推移

億円	2018				2019				2020
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
鉄鋼	5,194	5,289	5,613	5,532	5,433	5,393	5,215	5,143	4,068
産機・ｲﾝﾌﾞ	224	230	243	225	219	220	228	209	186
繊維	353	388	373	393	278	369	347	305	202
食糧	348	360	394	321	353	369	379	325	335
その他	3	4	3	8	2	2	2	1	0
<b>売上高計</b>	<b>6,123</b>	<b>6,272</b>	<b>6,628</b>	<b>6,481</b>	<b>6,287</b>	<b>6,356</b>	<b>6,173</b>	<b>5,985</b>	<b>4,793</b>
鉄鋼	74	63	70	55	60	60	64	36	45
産機・ｲﾝﾌﾞ	7	6	8	4	7	10	11	8	-0
繊維	9	7	5	21	6	15	12	12	-2
食糧	5	7	7	6	7	5	5	5	4
その他	-6	3	1	0	0	0	0	0	-0
<b>経常利益計</b>	<b>91</b>	<b>88</b>	<b>94</b>	<b>89</b>	<b>81</b>	<b>92</b>	<b>94</b>	<b>63</b>	<b>46</b>

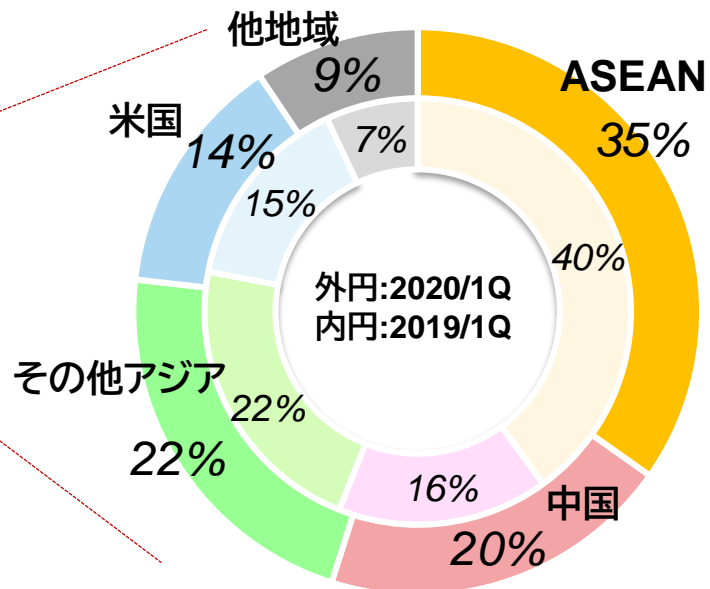
# 当社海外売上高の推移

連結売上高内訳

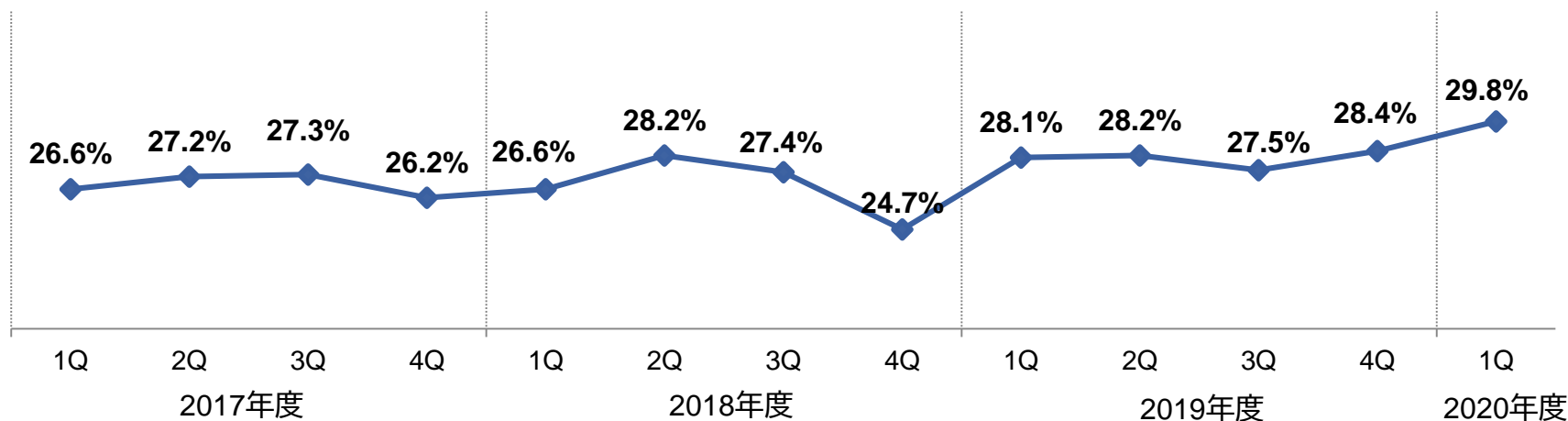
合計 6,287 億円



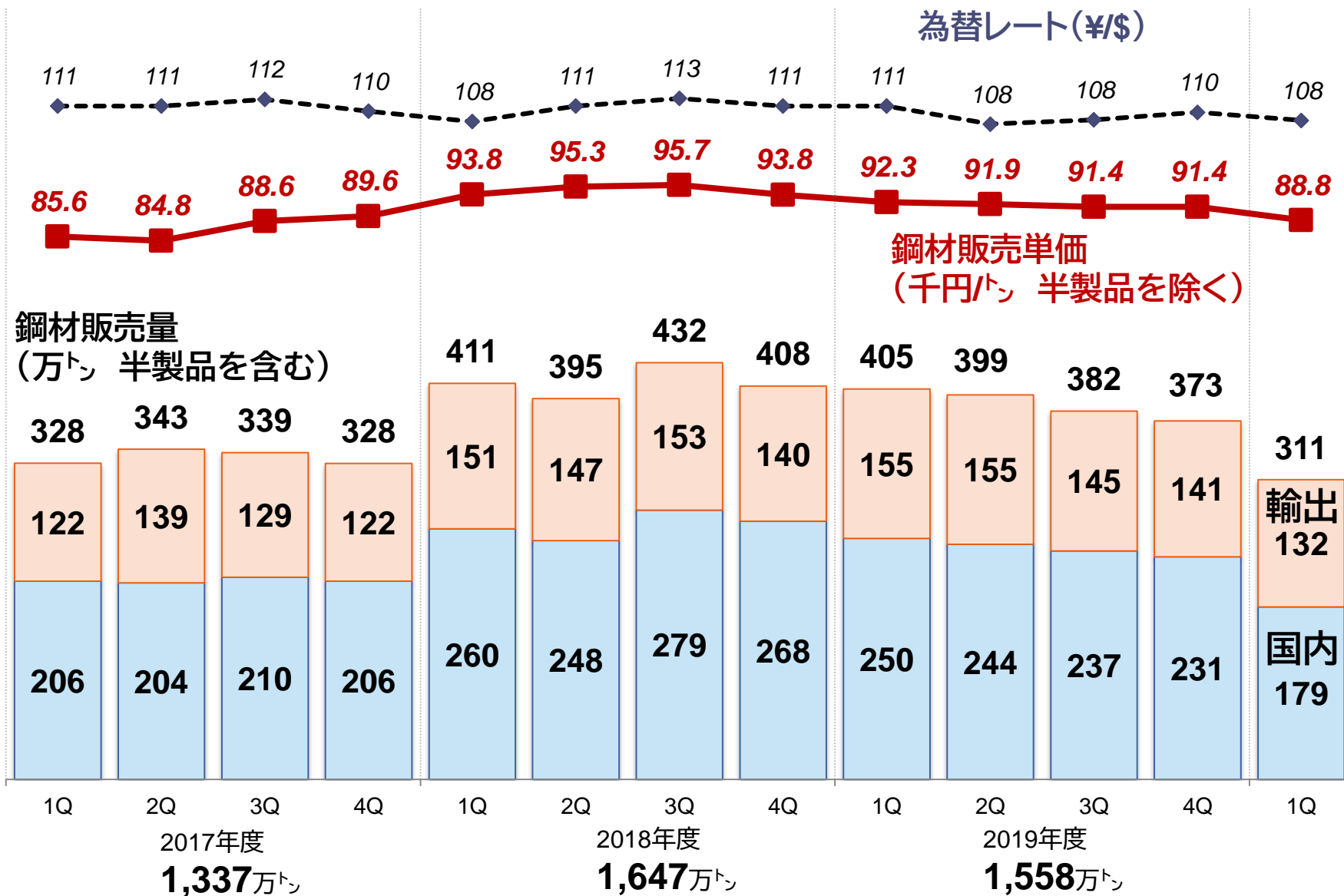
海外売上高地域別比率



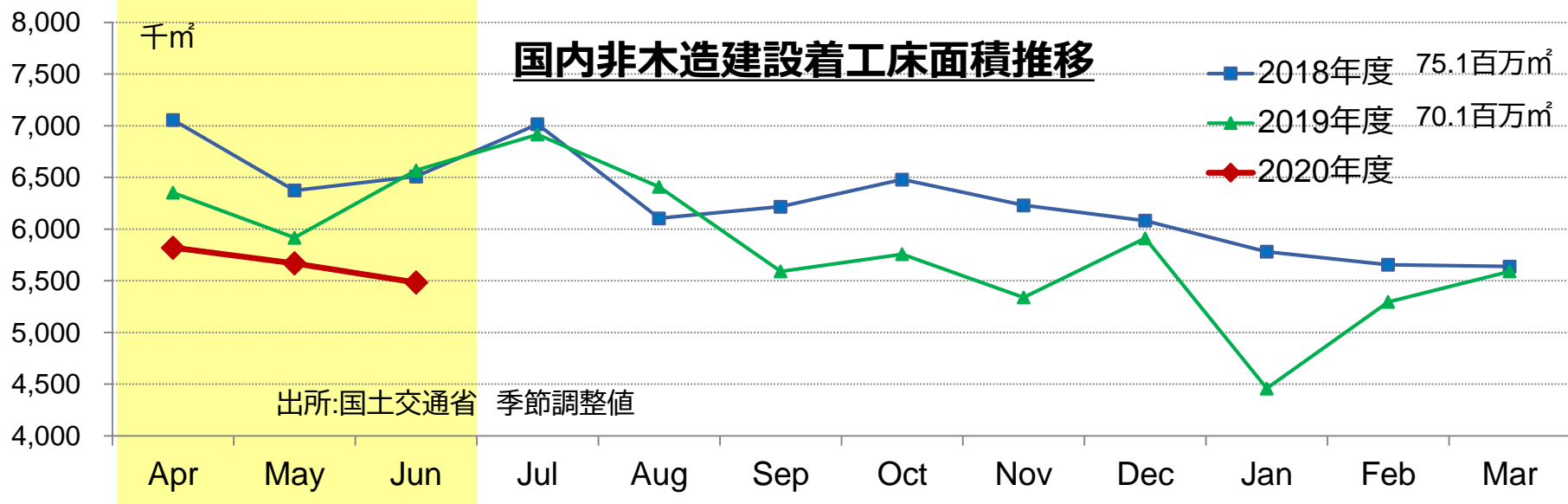
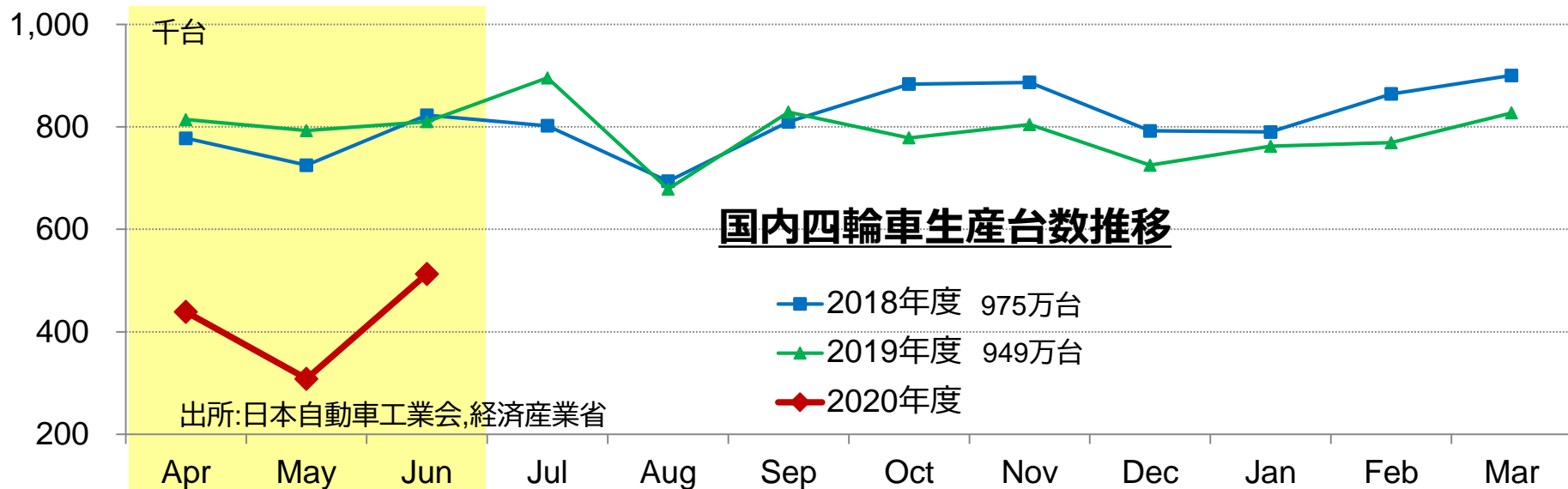
## 海外売上高比率推移



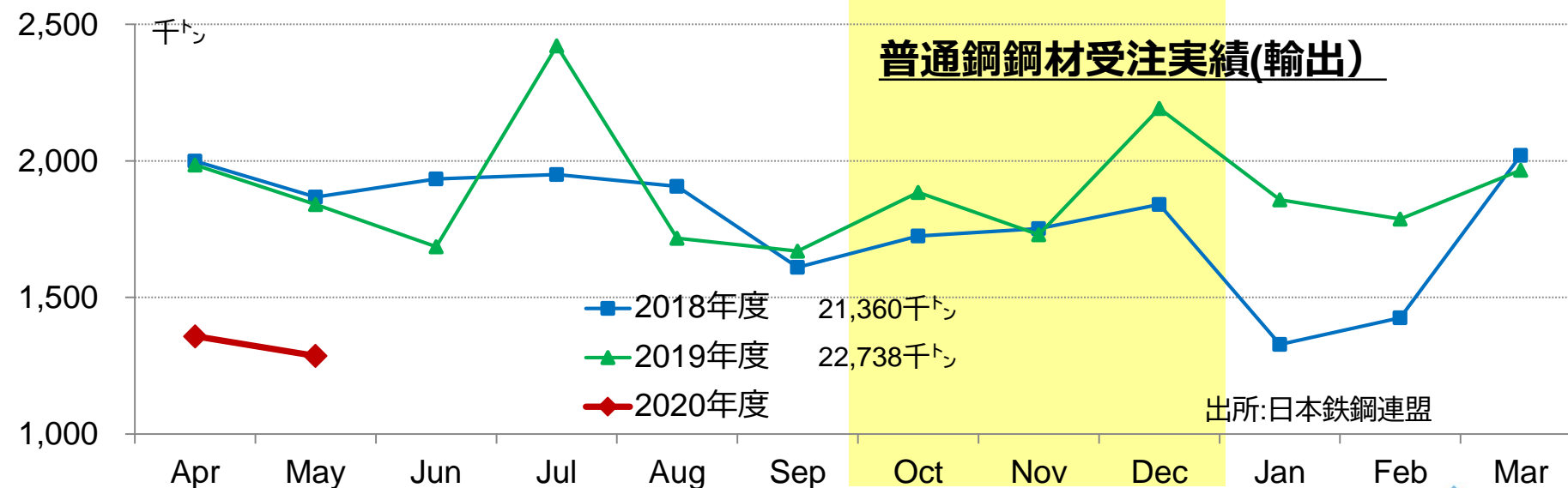
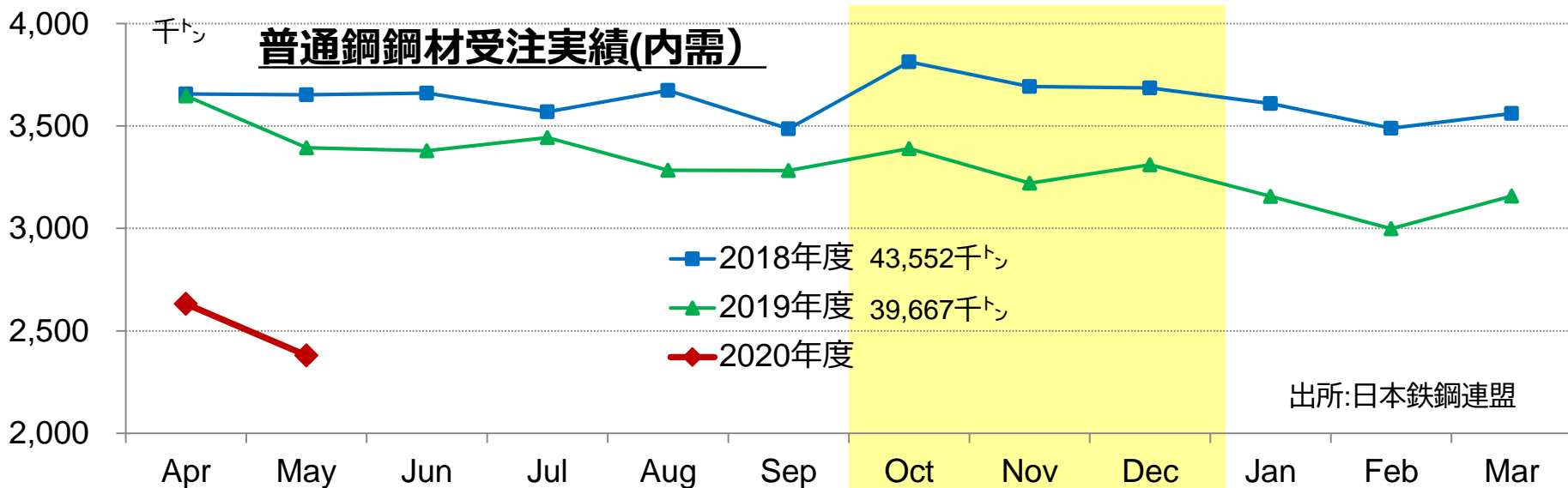
# 鉄鋼事業(単体) 鋼材販売量と単価の推移



# 国内需要産業の動向



# 鋼材需要動向



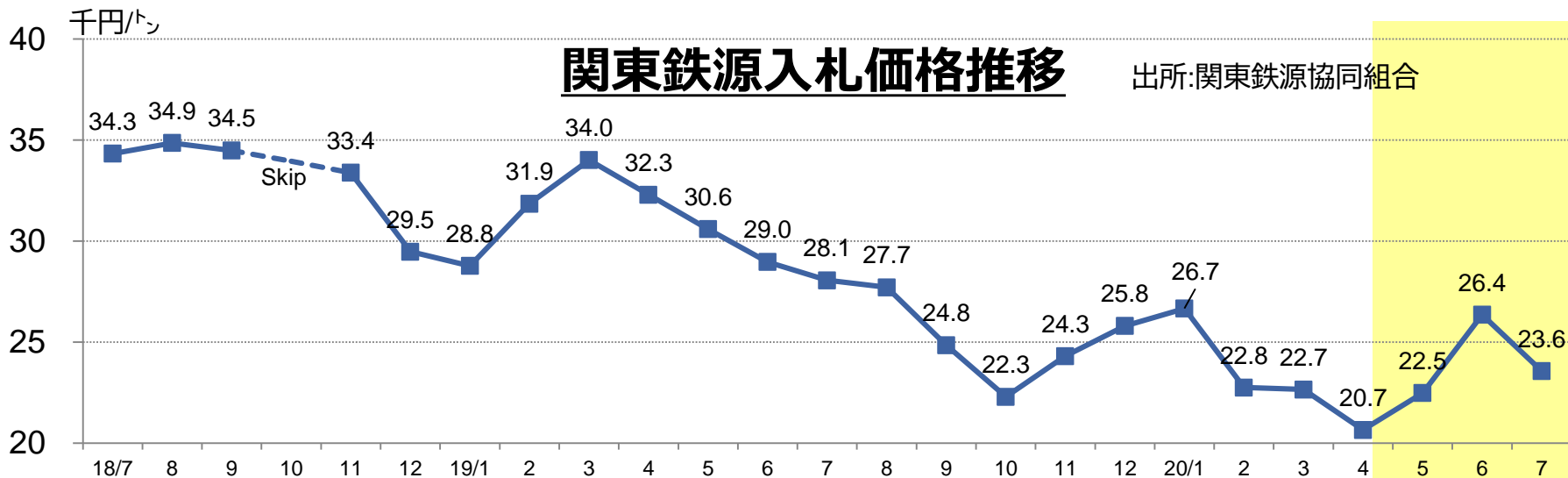


# 鋼材需給関係指標



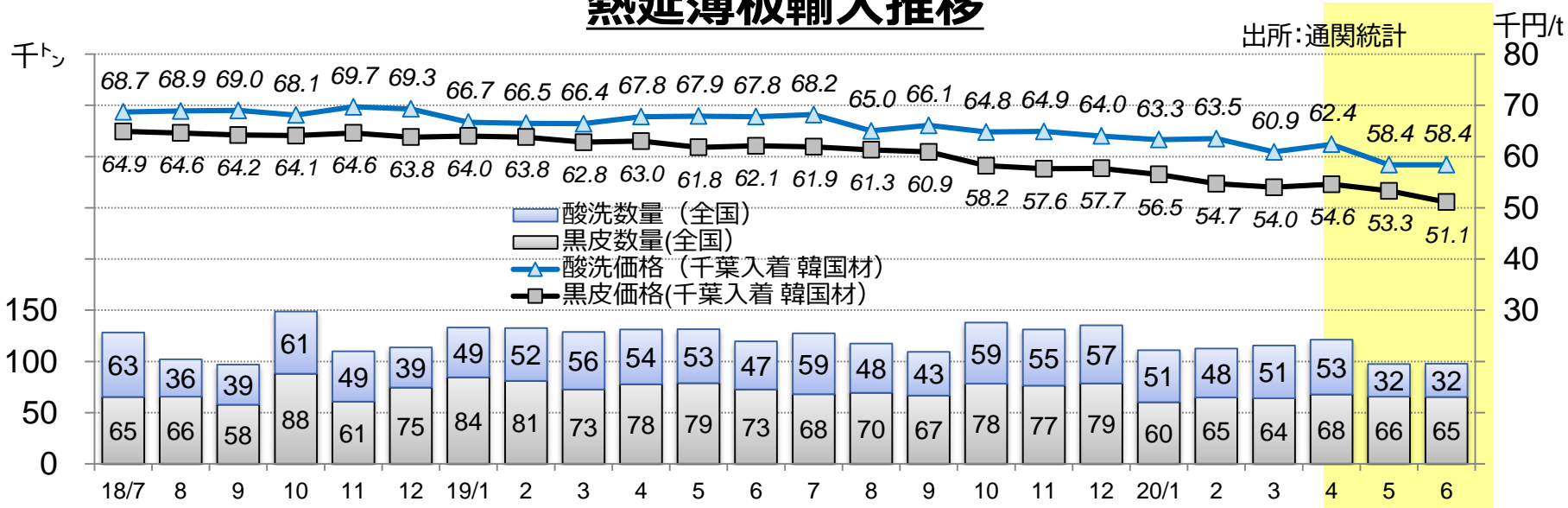
## 関東鉄源入札価格推移

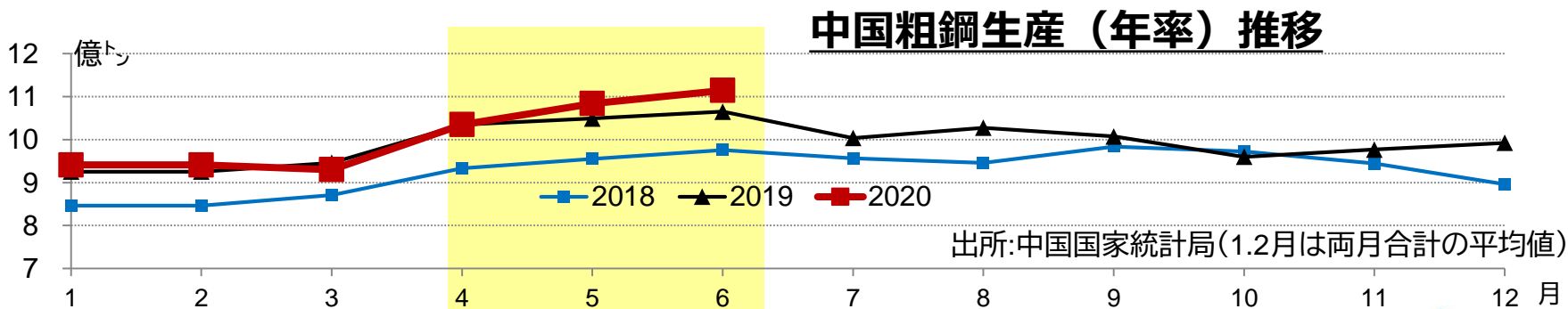
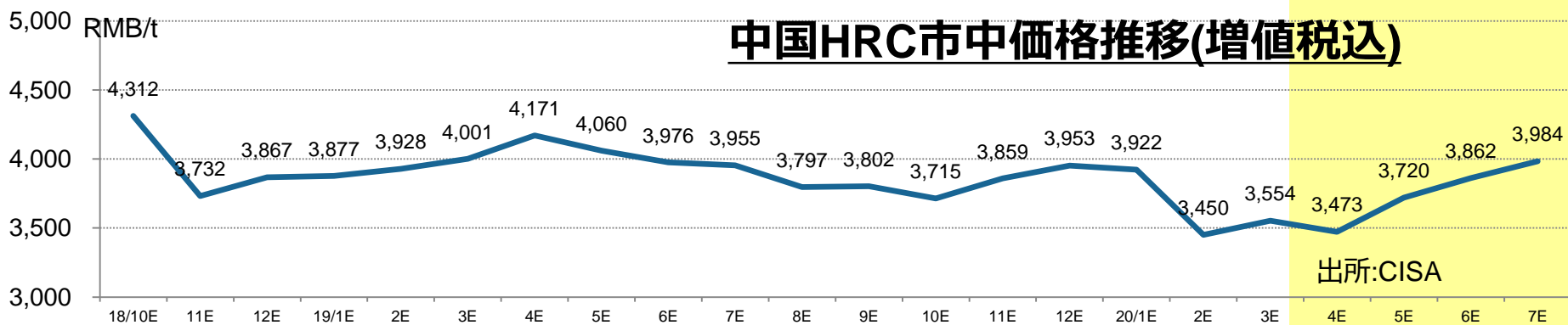
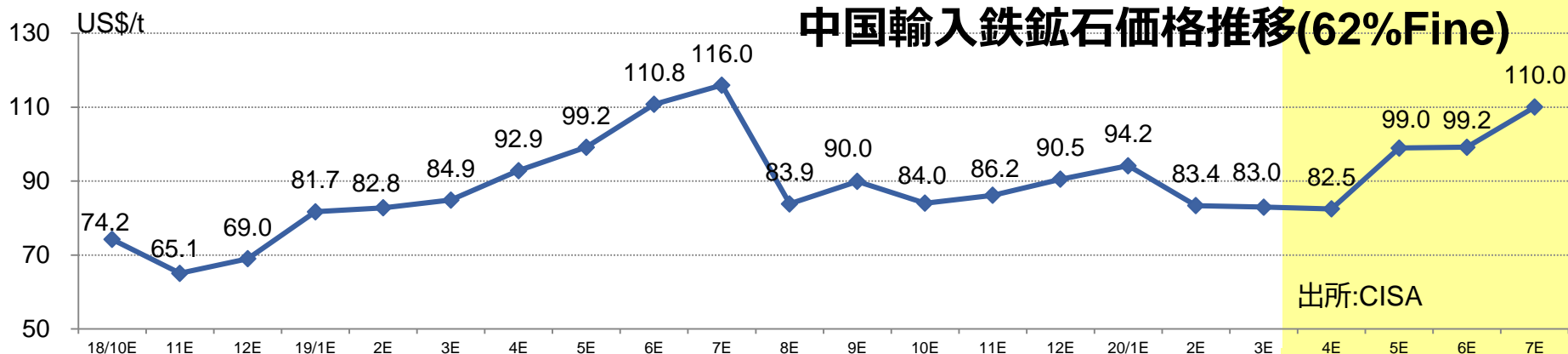
出所: 関東鉄源協同組合



## 熱延薄板輸入推移

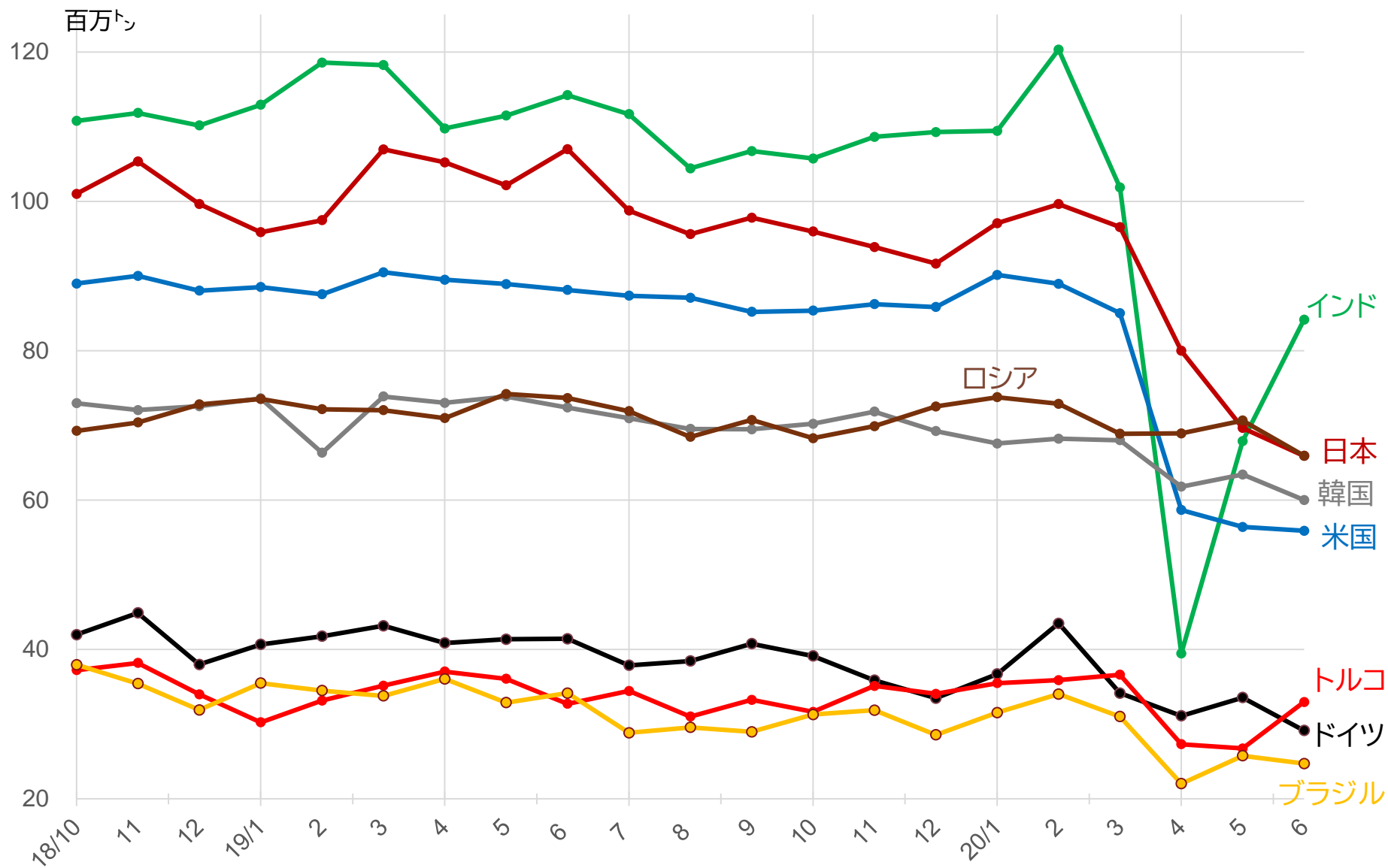
出所: 通関統計



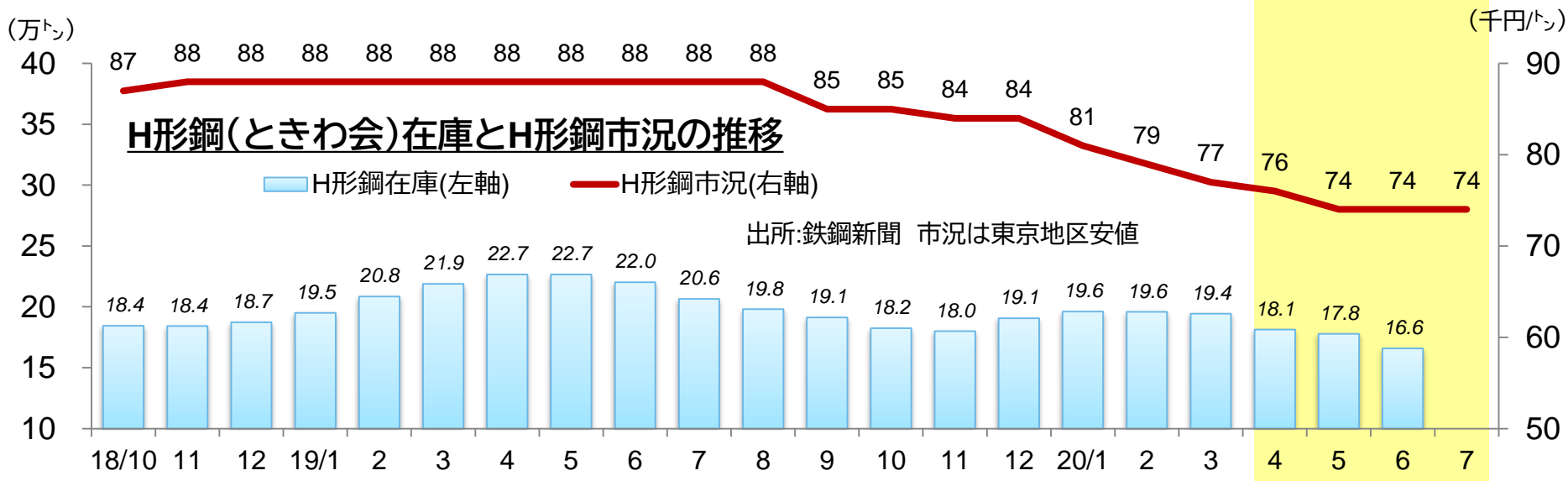
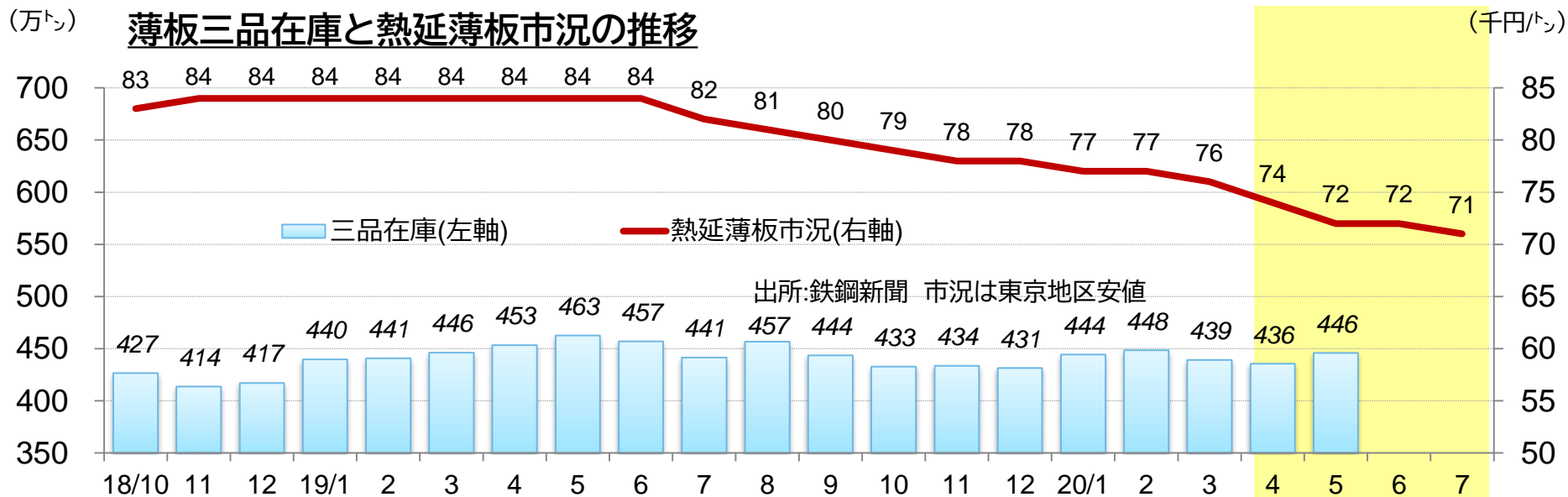


# 主要国粗鋼生産量

(出所:WSA 年率)

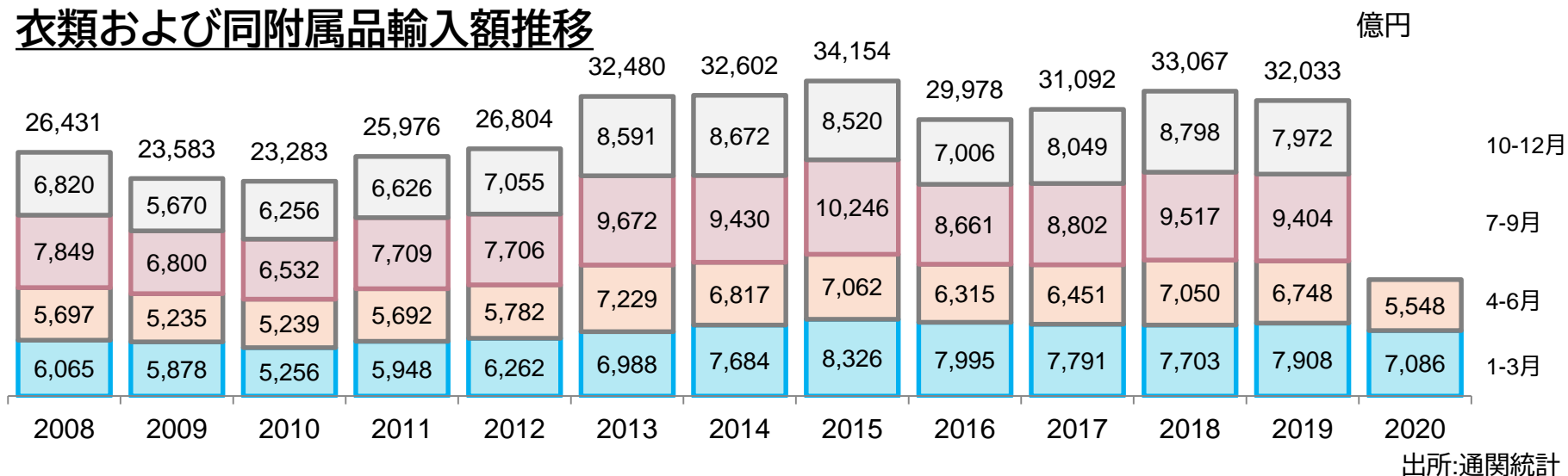


# 国内鋼材市況の推移

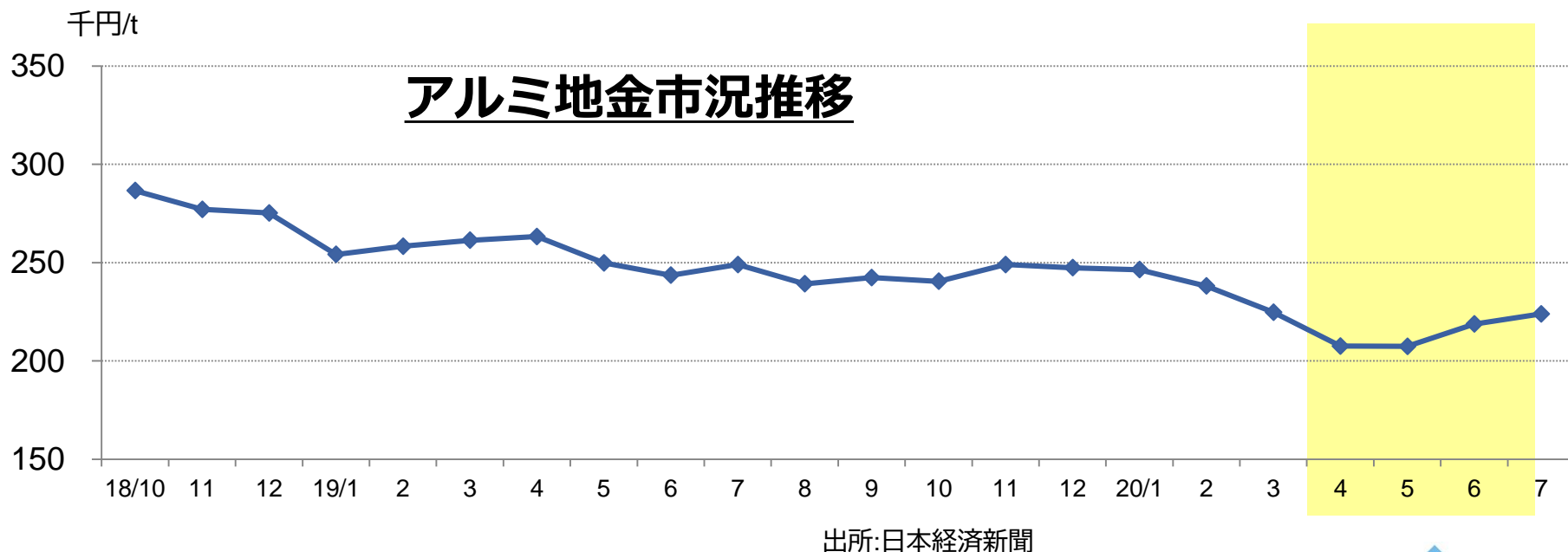




## 衣類および同附属品輸入額推移



## アルミ地金市況推移



# 食糧事業関係指標-1

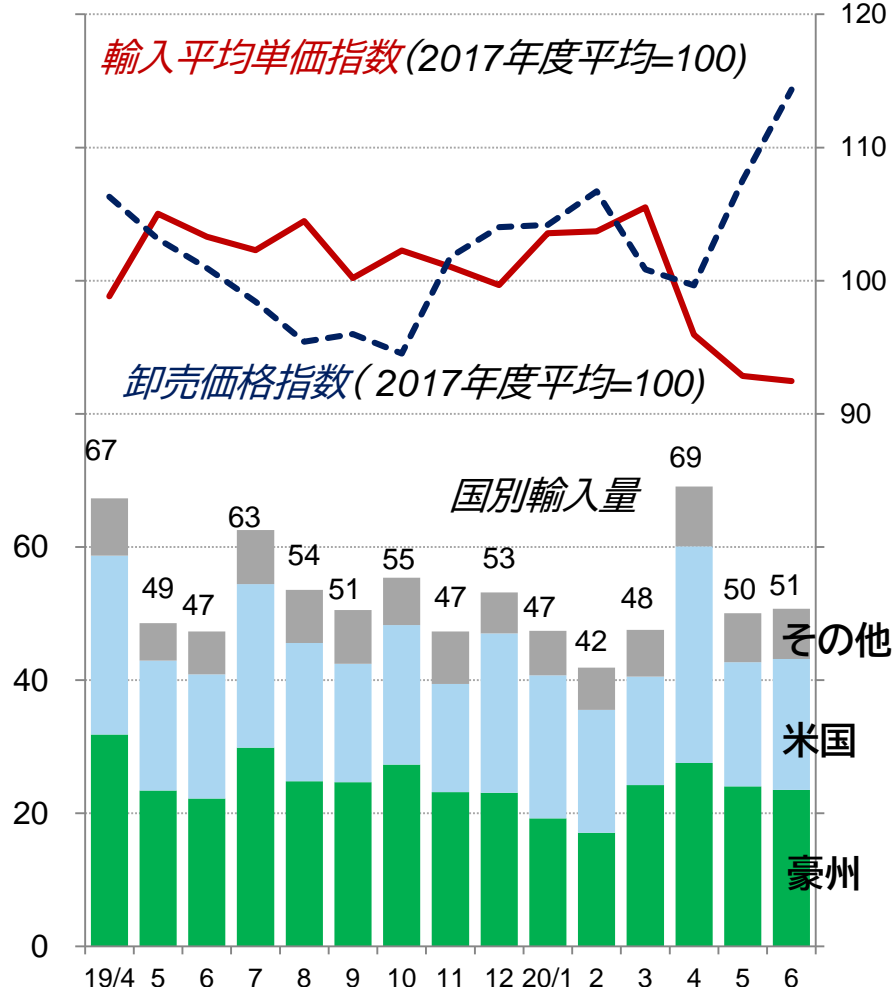


## 輸入牛肉量および市況



千トン

指数



(出所)通関統計,農畜産業振興機構

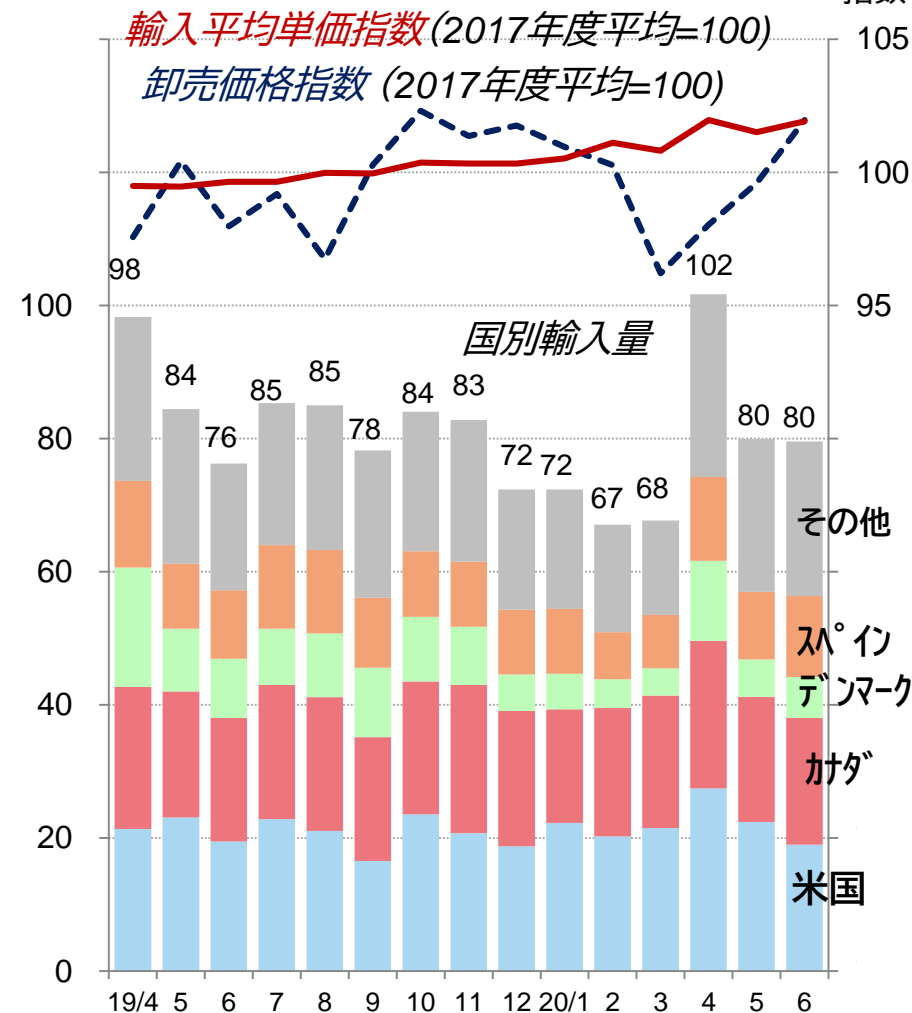
卸売価格は米国産冷蔵チャックアイロール(肩ロース)

## 輸入豚肉量および市況



千トン

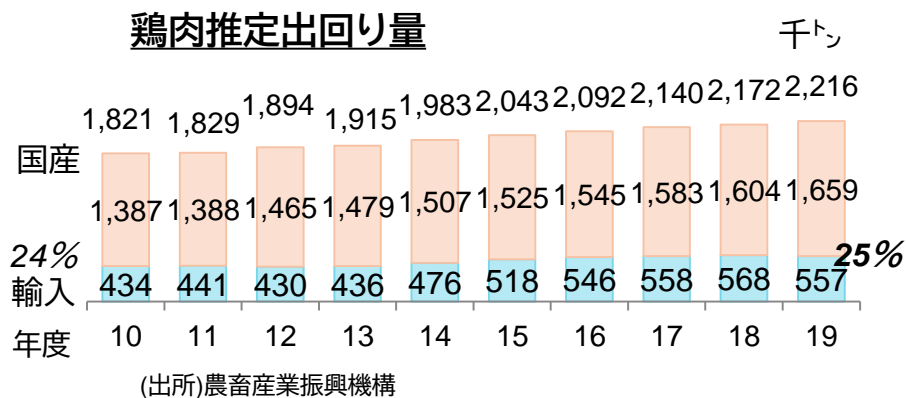
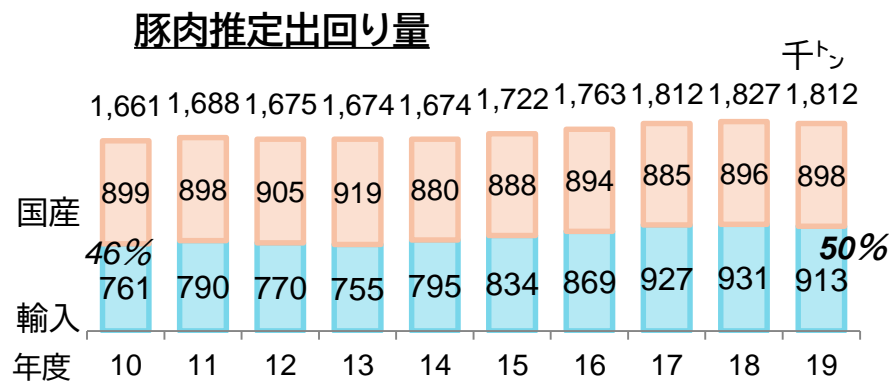
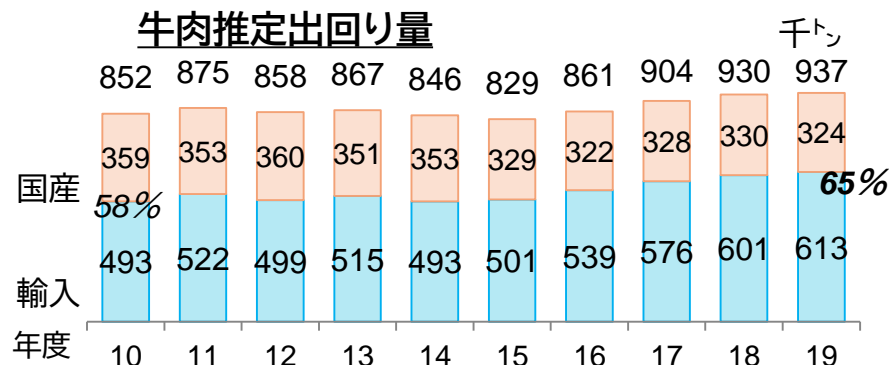
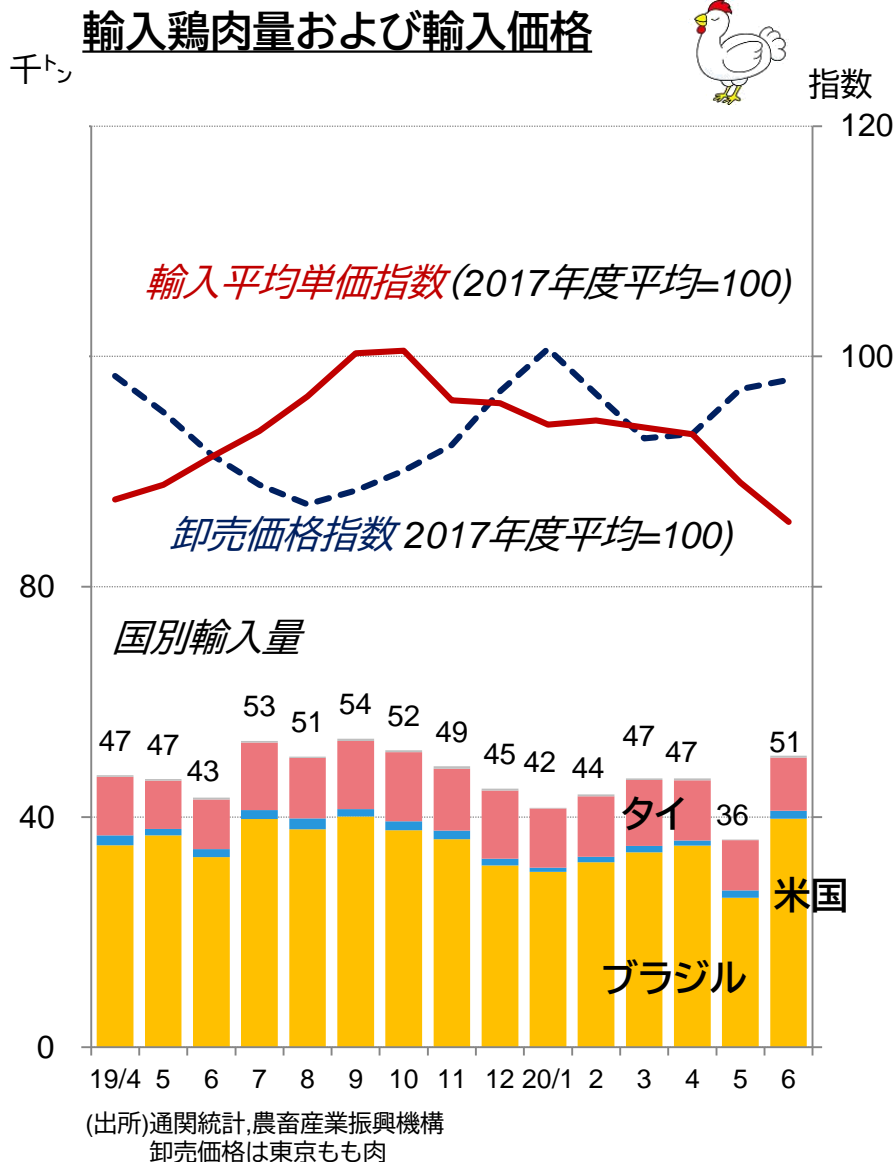
指数



(出所)通関統計,農畜産業振興機構

卸売価格は米国産冷蔵ばら

# 食糧事業関係指標-2



## 日鉄物産株式会社企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す  
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、開示の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



# 日鉄物産

NIPPON STEEL TRADING